

T 広報 Tome

Miyagi Tome Public Relations

モミモミしましよ

特集

必要としているあなたのために P 2

平成 23 年度決算報告 P10

市職員の給与などのあらまし P12

トピックスとめ P22

市民の広場 P28

市からのお知らせ・暮らしの情報 P30

ときめき人 P36

12.1

December 2012
Vol.183

女性被災者の支援に取り組んだ
「えがおねっと」11カ月軌跡

特集

必要としている あなたのために

昨年3月11日に発生した東日本大震災では、登米市も大きな被害を受けました。

そんな中、自らも被災者ながら

近隣沿岸部の被災者の支援に取り組んだ女性たちがいます。

震災による女性被災者の支援のために

立ち上げた「えがおねっと」。

今月号では「えがおねっと」代表の

須藤明美さん（登米町）の話を中心に、

11カ月に及んだ活動の軌跡を振り返ります。（2ページ）



須藤 明美（すとう・あけみ） 登米町新町在住

えがおねっと代表。水稻・畜産農家。登米市男女共同参画審議会委員、元登米市男女共同参画条例策定委員、元第2次登米市男女共同参画基本計画策定委員会委員長、登米市の医療を考える会会長

「えがおねっと」の結成 きっかけはお見舞い訪問

私は、市内登米町で牛の繁殖、水稻の専業農家を営んでいます。家族は、夫と小学5年生の息子、義父母の5人です。

「えがおねっと」は、震災直後から登米市の避難所に暮らす女性を支援することを目的に結成したものです。設立のきっかけは、昨年3月11日の東日本大震災。私の家でも大きな被害があり、買い物やガソリンを求めて並ぶなど苦労をしました。その苦労が一段落ついた頃、自宅近くの登米公民館に南三陸町の人たちが避難してきているということを聞きました。

その時、私にも何かできることがないか、炊き出しのお手伝いにいこうか、義援金を集めて送ったほうがいいのかなど、いろいろ考えました。ただ、そう考えているだけで、実際にはなかなか行動には移せませんでした。

そうした中、市の男女共同参画担当である市民活動支援課の三浦徳美さん（当時）から、仙台のNPO法人「イコールネット仙台」代表理事の宗片恵美子さんと、宮城学院女子大学の浅野富美枝教授が、避難所の女性にお見舞い訪問に行くというので「もしよかつたら一緒に行きませんか」と声をかけていただきました。

それで早速、4月28日に市内の各避難所のお見舞い訪問に同行し、女性だ

震災の混乱から一段落ついて、 自分にできることはないか考えていた



須藤明美さん【写真左】らは「えがおねっと」を立ち上げ、避難所の女性被災者一人一人の希望に沿った支援物資を手渡す活動を行いました



全国の支援団体から送られた多くの支援物資から「その人だけ」に必要な支援物資を一つ一つ仕分けするメンバー

「えがおねっと」のネーミングは 避難所の女性たちを「笑顔に」という願い

けに集まっていたいただきお話を聞かせていただきました。

避難所で、女性ならではの 悩みがたくさん寄せられた

その時に出てきた声が、支援物資は来るけれどもサイズが合う下着がない。手直ししたくても、避難所には裁縫道具が1個しかなく、なかなか借りられないので直せない。あとは生理用のナプキン。これを避難所の男性の担当者にもらいにいかなくてはならない。何時間おきにもらいにいくと「え、また使うの？」みたいな感で言われる。更衣室がないので、着替えは布団をかぶって夜にしなくてはならない。あの時は寒かったですし、スキンケアの化粧品がないので肌がガサガサしてしまう。でも化粧品はぜいたく品と思われてしまうので、なかなか要求しにくい。

これから銀行やハローワークに行かなくてはならないのに、履歴書を出すにも素顔で写真を撮らなければなら



1 避難所で支援物資を渡す傍ら、被災者の話を聞く須藤さん【写真中央】。2 被災者から寄せられたパーソナルリクエスト票をもとに袋詰めされた支援物資。3 「えがおねっと」の活動に共感した化粧品メーカーの協力で行われたフェイスマッサージは、被災女性の心まで癒やしました。4 やわらかい雰囲気「えがおねっと」のロゴマークは、慰問で避難所を訪れた二代目江戸家小猫（えどやこねこ）さんが作成してくれたもの。6枚の花びらは、メンバー6人の思いを表現しています

特集

必要としている あなたのために

東日本大震災と登米市

● 人的・住家の被害状況

（平成24年11月1日現在）

平成23年3月11日午後2時46分に三陸沖を震源に発生した東北地方太平洋沖地震では、登米市で最大震度6強を記録。4月7日に発生した宮城県沖を震源とする余震と合わせ、県北部の内陸に位置する登米市にも大きな被害をもたらした。

人的被害は、死者28人（市外死亡者19人、災害関連死9人）、行方不明者3人、負傷者52人となっている。住家および非住家の被害は、住家の全壊201棟、大規模半壊436棟、半壊1337棟、一部破損3356棟で、非住家被害は794棟。住家、非住家合わせると6124棟に上った。



い。それがちよつと恥ずかしいし抵抗がある。義援金が入ってきてても、やはりお母さんというのは家族のものを優先して買ってしまったって、なかなか自分のものが買えないですとか。

そのほか、避難所の食事の当番というのが女性たちの役割、女性だけなんです。朝早くから夜遅くまでかかり、当番の人は夜お風呂に入れない。徐々に外で働く人が増えてきて、日中炊き出しをする人が限られた人になってしまふ、などという女性の悩みを聞きました。その話を聞いて、よく皆さん、1カ月以上も我慢をしてこられたと驚きました。

登米市の男女共同参画実現 女性の視点で一歩踏み出す

お見舞い訪問からほどなく、担当した市民活動支援課の三浦さんと「女性の視点の支援が抜け落ちているよね」という話をしました。そこで三浦さんから「男女共同参画推進条例策定委員会」の皆さんで、何とか助けられるような



会を立ち上げてもらえないだろうか」という相談を持ちかけられました。昨年4月に「だれもが生き生きと暮らせる」ようにと施行された登米市の男女共同参画推進条例には、「男女の個人としての人権が尊重され、男女が直接的にも間接的にも性別による差別的取り扱いを受けることなく…」という文言があります。その登米市の男女共同参画社会の実現のため女性の視点から一歩を踏み出そうと、条例策定委員会の女性委員5人と事務局の三浦さんで、5月13日に「えがおねっと」を立ち上げたのです。

登米市男女共同参画推進条例

条例名は「だれもが生き生きと暮らせる登米市男女共同参画推進条例」。平成23年4月1日から施行された。この条例は、男女共同参画社会の実現を目指し、市（=行政）だけでなく、市民、事業者、教育関係者、市民団体が協力し、男女共同参画に計画的に取り組むため制定された。制定に当たっては、公募市民など15人で構成される「登米市男女共同参画条例策定委員会（委員長：浅野富美枝・宮城学院女子大学教授）」が素案を作成。市民に親しまれるようにできるだけ分かりやすい表現を使い、基本となる考え方や市民、事業者、教育関係者、市民団体および市が実施する基本的な施策が盛り込まれている。

「えがおねっと」の立ち上げが決まると、早速その足で登米市の布施孝尚市長に相談に行きました。そこで、避難所から上がった女性の声を行政に届けること、併せて「えがおねっと」への登米市の後方支援をお願いすると、布施市長にも快諾していただきました。「えがおねっと」は物資を募る活動もしました。このときには登米市が後方支援をしているということがかなり

行政の後方・信用支援が 活動の大きな力になった

「えがおねっと」のネーミングには、避難所の女性たちに笑顔になってもらい、私たちもそれを見て笑顔になれる、そういうネットワークが作れたらいいなという願いが込められています。

小野寺寿美子さん（中田町）、会計にはピアノ講師で登米市教育委員の小野寺範子さん（迫町）、監事には印刷所を経営している皆川洋子さん（迫町）と、仙台に事務所を構えて自営業をしている元民生委員の長谷浩子さん（米山町）が決まりました。

えがおねっと

4

▶崩落した野球場（東和総合運動公園）



市内に避難所を設置

震災直後、避難所を市内の公共施設など53カ所に開設。避難者は、ピーク時6230人に上った。

津波の被害を受けた南三陸町など、隣接する沿岸被災者の受け入れ態勢も直後に整えた。登米市内に開設した、延べ11の避難所では、ピーク時に南三陸町や石巻市、女川町の住民833人を受け入れた。



▲避難所の様子（迫体育館）

2町に仮設住宅を建設

市内の南方町と津山町には、南三陸町からの被災者を受け入れる仮設住宅が4カ所（南方町1、津山町横山2、津山町柳津1）建設されている。仮設住宅には、平成24年11月現在、合わせて約430世帯1000人が生活している。

「えがおねっと」の活動を通じて、「人のために」と思うことも、相手の「人として」の矜持を汚すことなく、欲しい人に欲しいものを届けることの難しさを知りました。



長谷 浩子さん
(米山町清水)

支援をした避難者の中に友人がいました。私は、この地から離れない限り一生彼女たちの隣人です。隣人として尊敬し、大切にしていきたい。お互いに「お互い様」と言える関係でいたい。心からそう思っています。



小野寺 美子さん
(中田町新小路)

暑い中での仕分け作業も、被災者の方々の笑顔と「ありがとう」と涙ぐむ姿が後押しとなり、何とか続けられました。「何かをしてあげる」

大きな力となりました。

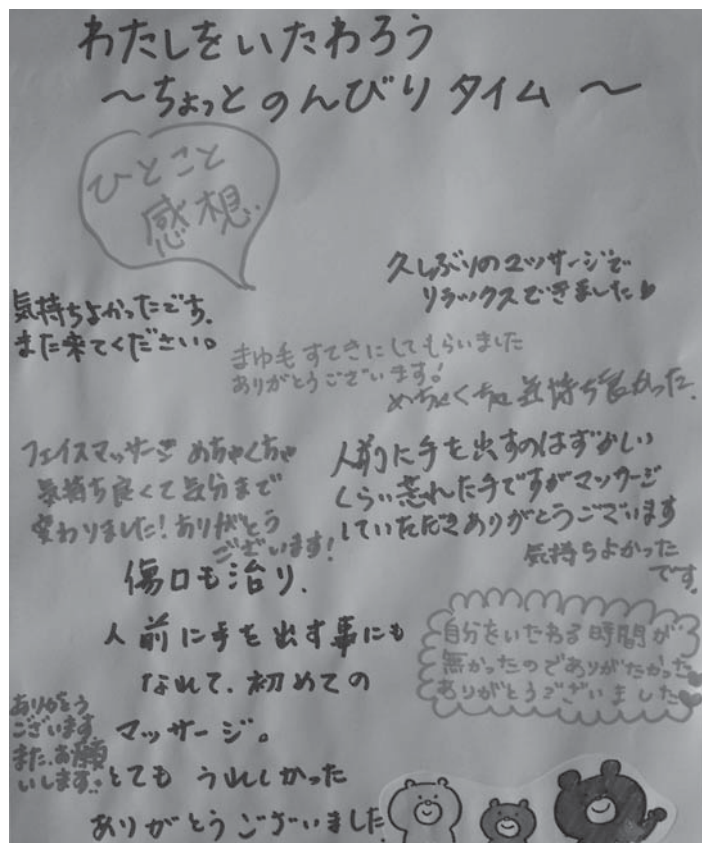
「女性支援の『えがおねっと』です」と支援を呼びかけても、こんな小さな団体には協力してもらえないのは難しい。それが、登米市が後方支援をしているという情報を発信すると、信用支援というものが得られて続々と物資の提供があり、さらに集まった物資の置き場所にも市の支援をいただきました。

調査票に回答した人だけ 支援物資を手渡すことに

「えがおねっと」の活動の始めとして、まず市内の避難所にいる430人の女性たちのニーズ調査を行いました。イコールネット仙台と市民活動支援課の協力でパーソナルリクエスト票という調査票を作成。市民活動支援課には、そのパーソナルリクエスト票の配布と回収、そしてデータの整理もしていただきました。

このパーソナルリクエスト票というのは1枚の用紙ですが、身長や体重、年齢のほか、使用している化粧品や生理用品のメーカー、下着のサイズなどを記入していただき、中身が見えないようにリクエスト票を折って回収するつくりにお渡ししました。

リクエスト票を回収したときには、430人のうち276人の方から回答をいただきました。「えがおねっと」としては、回答をいただかなかった方には物資をお渡ししないことに決めま



「えがおねっと」が企画した、避難所の女性たちにフェイスマッサージやハンドマッサージ、ティータイムを行う「わたしをいたわろう～ちょっとのんびりタイム～」。女性たちから寄せられた手書きの文字には、感謝の思いが込められていました

した。避難所の女性に女性用の物資をただ配布するというのでは、今までの物資支援と同じになってしまいます。私たちは、困っている女性に必要なものを、きちんと意思のキャッチボールをしながら渡すからこそ意味があると考えました。

寿司やステーキはよくても 女性化粧品はぜいたく品？

5月の下旬になり、化粧品メーカーの協力で「わたしをいたわろう。ちょっとのんびりタイム」と称して避難所の女性にマッサージやメーカーキャップをして、化粧品を支援物資として渡せる準

備が整いました。

早速避難所の男性代表者の方に、「こういうことをしたいんですが」とお話ししたところ、「一部の避難所の男性代表者から「避難所生活に化粧品のようなぜいたく品は必要ないよ」と言われました。そこで、4月に私たちが避難所を回った時に聞いた女性たちの声や「今の時代、化粧品は女性にとって日用の必需品であって、決してぜいたく品ではないんですよ」ということを訴え、何とか開催の許可を得ました。

この頃はよく、新聞やテレビなどでは、避難所でマグロのお寿司や牛肉のステーキが振る舞われたという話を目

のではなく「何ができるか」を考えながらの活動でした。



皆川 洋子さん
(迫町光ヶ丘西)

みんなで心を一つに活動できてよかったです。日本は、お金も物資もこんなにあるのだと思いました。多くの支援物資は大手商社からいただいたもの。地元商店の活性化にはつながりにくいところがありました。



小野 寺 範子さん
(迫町錦東)

にしました。男性が食べられるお寿司やステーキなどはぜいたく品ではなくて、女性が使う化粧品はぜいたく品なのかと、私は疑問に思いました。

女性が明るくなると 周りまで明るくなる

その「のんびりタイム」も各避難所で開催され、私たち「えがおねっと」はマッサージを待つ間に皆さんとお茶を飲みながらお話をさせていただけですが、はじめは皆さん、構えていたのですが、自分からだんだんと津波の話や当時の大変だったお話を話し始めました。大変だったことを誰かに聞いて

ほしい、話すことで癒やされるということが伝わり、一緒に涙を流しながら話を聞きました。

マッサージやティータイムが終わる頃には、皆さん、すっきりとした顔に。別れる頃には何年も前からの知人のように親しくなり、握手まで求められるようになりました。

のんびりタイムが終了する頃には「化粧品はぜいたく品」と言っていていた男性代表者の方から「母ちゃんたちがあんなに喜んでいるのを見てびつくりした」。避難所に来てからあんなに笑顔の母ちゃんを初めて見たよ」と言っていたことができました。「女性

ここまでしてくれるの 驚きと感謝の気持ち



小野 洋子さん
(南三陸町入谷)

震災前は南三陸町の戸倉地区に住んでいました。津波で家が流され、今は南三陸町の入谷小学校のグラウンドに建てられた仮設住宅に、家族6人で生活しています。震災後は、登米市の避難所になった登米武道館などで生活していました。「えがおねっと」の須藤明美さんたちと初めてお会いしたのは、登米武道館で被災女性のフェイスマッサージなどが行われた時。その後、支援物資として自分に合った下着や化粧品をいただきました。「ここまでしてくれるんだ」と、その心配りに大変驚いたことを覚えています。須藤さんとは今でも交流が続いています。

が明るくなると、周りまで明るくなるんだな」ということを実感しました。

震災前は当たり前モノ 一人一人の物資を袋詰め

そして5月の末からメンバーそれぞれが自分の仕事の合間をぬって本格的に物資の仕分けをしました。私もこの頃に震災の影響で遅れた田植えをしました。日中「えがおねっと」の「仕事」をするために、朝4時に夫と二人で田植えをすることもありました。付き合わされた夫にしてみたら、たまったものではなかったでしょうね。

メンバーみんなで、山のような物資の中から276人分一人一人のサイズに合わせた下着類などを探し出し袋に詰めていきました。6月の初めに一人につきレジ袋3個分の物資の配布ができました。中身は、化粧品や下着、生活用品、裁縫箱など、どれも震災前には当たり前のように自宅の引き出しや洗面所にあつたものばかり。渡した方からは「こんなにももらえるの」と、と

「あんなに笑顔の母ちゃんを初めて見たよ」 開催を渋っていた男性からも感謝の声

特集
必要としている
あなたのために

でも喜んでいただきました。「今までは、欲しいものを聞かれても実際には届かなかったから」という声もありました。

「避難所生活で自分が必要としていた物を支援してくれる日がくるなんて信じられなかった」「生きる力をもらいました」「いつか恩返しをしたい」と言ってくれた方もいました。

7月に行った2回目の支援物資は下着類が中心。6月下旬の猛暑の中、何百枚とある下着を熱中症になる寸前になりながら仕分け、中に入っている下着が見えないように、エコクーラーバッグに入れて渡しました。

仮設住宅の支援を最後に、「えがおねっと」を解散

「えがおねっと」としての活動は、当初の計画では一回限りの物資支援で7月末に解散する予定でした。ただ、この後に「口紅を支援物資として渡してほしい」と支援金をお預かりしました。そこで9月には、市内の仮設住宅の女性一人一人に希望色を聞き、158本の口紅を手渡すことができました。



枝美美著、富野美枝、浅野富美、宮城学院女子大学、教授らが、東日本大震災による被害を受けた女性たちの支援をまとめた本「女たちが動く」(編著者：みやぎの女性支援会/発行：生活思想社)。「えがおねっと」の本でも紹介されています。

自分に何ができるか、一人一人が悩み、考え、行動した

昨年3月の震災当時は、企画部市民活動支援課で男女共同参画推進を担当していた「えがおねっと」結成後は事務局的な役割を担いました。「えがおねっと」は女性被災者一人一人に寄り添った物資支援に努め



佐補市長 支所市民課 総合支所 山米三浦 徳美

ました。女性視点の物資支援は、立教大学の萩原なつ子教授から企業などに支援提供を呼びかけていただき始まったのですが、支援物資の中には「えがおねっと」のメンバーが自分の知り合いに働きかけご提供いただいたものも数多くありました。

当初は一回の支援で3カ月程度の活動の予定が11カ月も続いたのは、彼女たちが「自分に何ができるのか」を真剣に悩み考え、それぞれの思いを込めて行動につなげた結果だと思っています。

仮設住宅には登米市以外の避難所から来られた方も入っていたので、「初めて『えがおねっと』を知った」という方も多く、「今まで1000円ショップの口紅しか使っていなかったけど、これでメーカー品の口紅が使える」とすごく喜んでいただきました。

今年3月には、仮設住宅の被災女性の自立支援に役立てていただきたいという申し出があり、市内にある仮設住宅の集会所にミシンとアイロンを送りました。そして、3月31日をもって「えがおねっと」は解散しました。以上が11カ月に及ぶ「えがおねっと」の活動の軌跡です。

私は農家の嫁です。今回「農家の嫁

でも何か役に立てることがあれば」と家族の協力のもとに「えがおねっと」というかたちで外に出て活動し、貴重な体験をさせていただきました。家族には負担をかけましたが、本当に感謝しています。

初めてのボランティア。この活動を通して私たちも避難女性たちも、自分が困難な状況に置かれたとき「声を上げることの大切さ」を学んだのではないでしょう。そして、それに応えてくれる方が多いことに驚きました。今まで一人一人で生きていたと考えると、活動をして、みんなどこかつながっているんだと実感できました。

声を上げることの大切さ、それに応えてくれる方の多さに驚く



宗片 恵美子 (むなかた・えみこ)
 特定非営利活動法人イコールネット仙台 代表理事
 仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台
 市民活動スペース スタッフ

私が所属するイコールネット仙台は、男女共同参画社会の実現に向けて幅広い活動に取り組んできました。

震災後、避難所の女性たちのニーズを把握するため、登米市役所の市民活動支援課に手配していただき、お見舞い訪問というかたちで市内の避難所を回らせていただきました。

避難所は、どうしても男性リーダーの視点で運営されがち。そのため、女性たちが「非常時だから」ということで、我慢を強いられているケースが多いのです。想像はつきませんが、実際に避難所に行つて女性た

ちの生の声を聞くことで、その後の具体的な支援につながりました。

「えがおねっと」は被災女性一人一人に寄り添い、彼女たちが震災前、当たり前に手にしていたものを支援物資として提供しました。化粧品メーカーと協力し、被災女性のためにフェイスマッサージやハンドマッサージを提供する取り組みも展開しました。この震災で悲痛な経験をした女性たちにとって、かつて自分を取り巻いていた品々を手にするこは、日常を取り戻す、よりどころになったことと思います。

避難所で聞いた女性たちの声が、その後の支援につながった

NPPO法人
 イコールネット仙台
宗片 恵美子 理事



浅野 富美枝 (あさの・ふみえ)

宮城学院女子大学教授 (家族社会学)
 特定非営利活動法人イコールネット仙台 理事、登米市男女共同参画審議会会長、気仙沼市男女共同参画審議会委員、栗原市男女共同参画推進委員会委員、財団法人みやぎ婦人会館理事

市民協働、男女共同参画のモデルケース

宮城学院女子大学
浅野 富美枝 教授

登米市の「えがおねっと」は、自治体の男女共同参画の取り組みから端を発し、その実践として市民協働で取り組まれたケースです。

「えがおねっと」の活動は、震災前から行っていた登米市の男女共同参画の活動が生かされたもの。彼女たちが、市の男女共同参画推進条例を策定していく中で勉強したことを実践に移したといえます。

彼女たちは研修を重ねていく中で、震災の被災者一人一人に寄り添った支援が必要と感じ、それを実践しました。自分たちで考え、自分たちで

決定し、自分たちで創意工夫しながら行動したのが大きな特長です。今回「えがおねっと」が取り組んだ被災者支援のノウハウは、登米市にとっても大きな財産といえます。

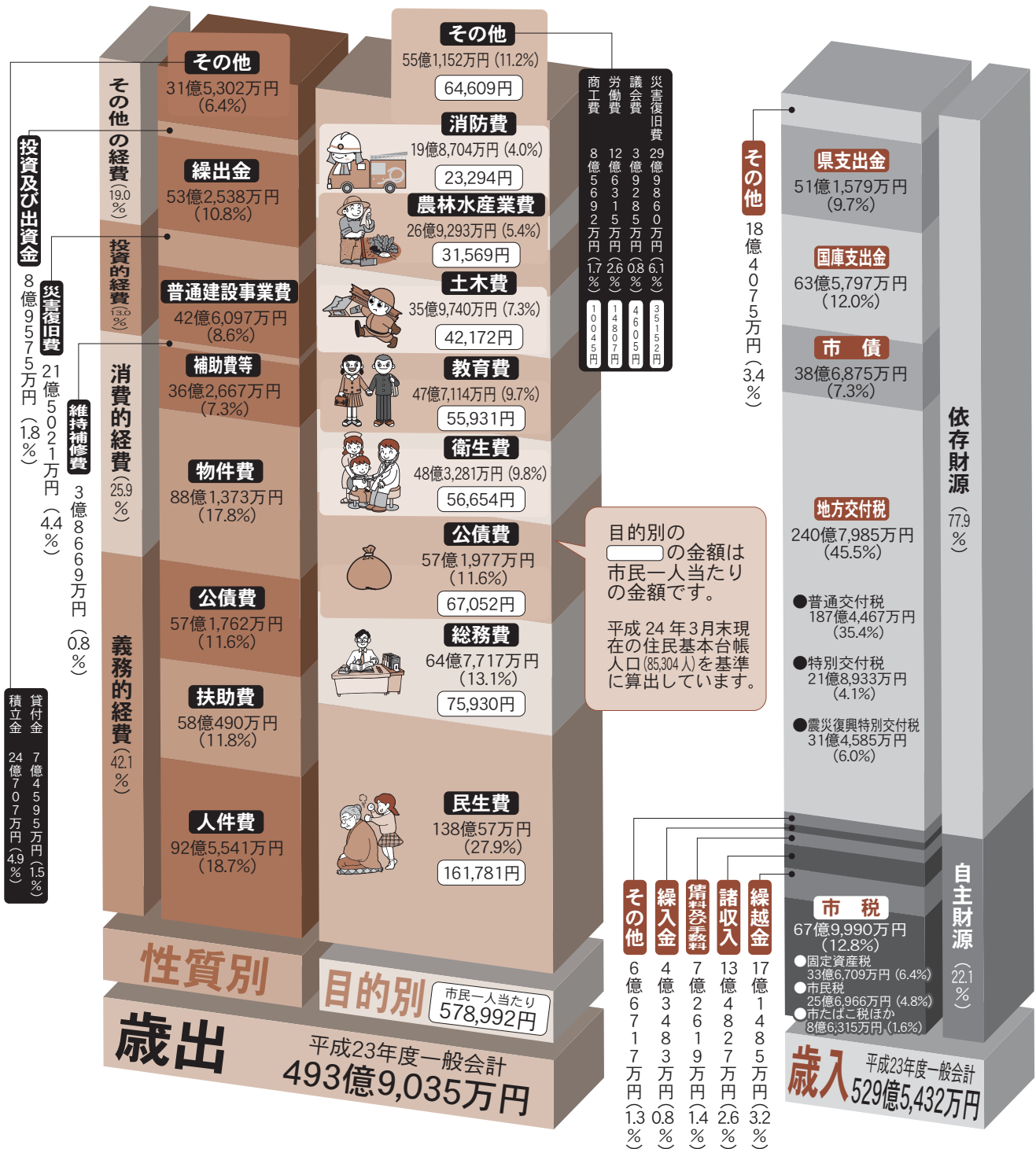
「えがおねっと」を語る際に忘れてならないのは、「えがおねっと」が市民と行政の協働の結実であり、同時に登米市を超えた多くの人と団体のネットワークのたまものだという事です。そういった意味でも「えがおねっと」の取り組みは、市民活動の一つのモデルケースといえるのではないのでしょうか。

平成 23 年度

決算報告

一般会計

登米市では、市の財政状況を随時皆さんにお知らせしています。皆さんが納めた税金が、この1年間でまちづくりにどう使われたのか、一般会計を中心に、お知らせします。



震災からの 復旧・復興を最優先

東日本大震災からの復旧・復興を最優先に取り組んだ平成23年度の一般会計決算は、21億5021万円に上る災害復旧費をはじめ、歳出総額では493億9035万円となり、登米市始まって以来最大の規模となりました。また、歳入面では、国や県から震災復旧に伴う新たな財源が措置されたことにより、資金の借り入れを最小限に抑えることができました。

地方交付税などの 依存財源が78%

歳入決算額の内訳は、地方交付税が240億7985万円（45・5%）、市税が67億9990万円（12・8%）、国庫支出金が63億5797万円（12・0%）などとなっています。

このうち市税など自主財源の合計は116億9121万円で歳入全体の22・1%、残りの77・9%が地方交付税や国庫支出金などの依存財源ですが、この割合が高くなっていることから、国や県などの影響を受けやすい財政基盤となっています。

市民一人当たり 58万円の支出

歳出決算額を市民一人当たり置き換えると、57万8992円で、その内訳としては東日本大震災からの復旧・復興への支出として3万5152円となりました。このほか、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い福祉などに支出される民生費が16万1781円と一番多く、次いで職員給与や庁舎管理などに支出される総務費7万5930円、借り入れた市債の元利償還のため支出される公債費6万7052円となっています。

財政健全化の目安 全基準値をクリア

財政健全化判断比率は、自治体の財政破綻を未然に防ぎ、悪化した団体に対して早期に健全化を促すために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算出されています。

平成23年度の各指標はすべて基準値を下回り、病院事業会計については、資金不足比率が前年度の17・1%から6・8%と改善されています。
【問い合わせ】企画部財政課
☎0220(22)2159

■表1 会計別決算状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計					
特別会計	国民健康保険	103億 6,325万円	99億 3,475万円	4億 2,851万円	
	後期高齢者医療	7億 342万円	6億 9,379万円	963万円	
	介護保険	71億 8,452万円	71億 510万円	7,942万円	
	土地取得	1億 6,169万円	1億 6,168万円	1万円	
	下水道事業	50億 6,247万円	48億 8,320万円	1億 7,927万円	
	宅地造成事業	4億 739万円	4億 716万円	23万円	
	企業会計				
企業会計	水道事業	収益的収支	24億 2,111万円	24億 1,919万円	192万円
		資本的収支	7億 2,207万円	18億 3,910万円	△11億 1,703万円
	病院事業	収益的収支	79億 7,568万円	79億 109万円	7,459万円
		資本的収支	12億 4,795万円	15億 52万円	△2億 5,257万円
	老人保健施設事業	収益的収支	3億 8,987万円	3億 8,222万円	765万円
		資本的収支	-	3,457万円	△3,457万円

■表2 平成23年度決算に基づく健全化判断比率（単位：％）

指標名	内容 (標準財政規模に対する割合)	健全化判断比率	基準値（平成23年度）	
			早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計の赤字額の大きさ	-	11.84	20.00
② 連結実質赤字比率	公営企業会計を含む赤字額の大きさ	-	16.84	30.00
③ 実質公債費比率	借金の返済に充てた額の大きさ	13.3	25.0	35.0
④ 将来負担比率	将来負担すべき借金などの大きさ	104.3	350.0	-

■表3 平成23年度決算に基づく資金不足比率（単位：％）

区分	資金不足比率	資金不足額	事業規模	経営健全化基準
① 水道事業会計	-	-	20億 9,132万円	20.0
② 病院事業会計	6.8	4億 7,097万円	68億 3,627万円	20.0
③ 老人保健施設事業会計	-	-	3億 8,829万円	20.0
④ 下水道事業特別会計	-	-	6億 3,149万円	20.0
⑤ 宅地造成事業特別会計	-	-	0万円	20.0

手当の種類	内容
扶養手当	○配偶者13,000円 ○配偶者以外 ①一人につき6,500円。ただし、職員に配偶者がいない場合は扶養親族のうち一人につき11,000円 ②満15歳に達する日後の最初の4月1日から、満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある扶養親族たる子については、一人につき5,000円を加算
通勤手当	○交通機関の利用者 6カ月定期などの最も経済的な額 ○自動車などの使用者 使用距離に応じて2,000円～24,500円を支給
住居手当	○アパートなど 家賃などに応じて27,000円を限度として支給
管理職手当	○管理または監督の地位にある職員について、その職務の特殊性に基づき支給 最高額 66,400円
その他の手当	上記のほか、労働基準法の規定に基づいて支給している時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当などがあります。

(5) 特別職等の報酬等の状況 (平成24年4月1日現在)

区分	給料月額等	区分	給料月額等		
給料	市長	911,000円	議員報酬	議長	491,000円
	副市長	734,000円		副議長	425,000円
	病院事業管理者	585,000円		議員	398,000円
	教育長	604,000円			
期末手当	(平成23年度支給割合)		(平成23年度支給割合)		
	市長	6月期 1.40月分 12月期 1.55月分 合計 2.95月分	議長	6月期 1.40月分	
	副市長		副議長	12月期 1.55月分	
	病院事業管理者		議員	合計 2.95月分	
教育長					

職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 職員の勤務時間 (平成24年4月1日現在)

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00

(2) 年次有給休暇の取得状況 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)

総付与日数 A	総取得日数 B	対象職員数 C	平均取得日数 B/C	取得率 B/A
61,326日	13,897日	1,586人	8.8日/年	22.7%

(3) 育児休業の取得状況

単位：人

区分	男性	女性
平成23年度新たに育児休業を取得した者	0	19
平成22年度以前から引き続けている者	0	26

職員の分限及び懲戒の状況

(1) 分限処分の状況 (平成23年度)

単位：人

区分	降任	免職	休職	合計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0
心身の故障の場合	0	0	7	7
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0
職制、定数の改廃、予算の減少により 廃職または過員を生じた場合	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0
合計	0	0	7	7

(2) 懲戒処分の状況 (平成23年度)

単位：人

区分	免職	停職	減給	戒告	合計	訓告等
法令に違反した場合	0	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、 または職務を怠った場合	0	0	7	2	9	7
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行があった場合	0	1	2	2	5	34

職員のサービスの状況

サービスの具体的内容

- 法令等及び上司の職務上の命令に従う義務
- 信用失墜行為の禁止
- 職務に専念する義務
- 争議行為等の禁止
- 秘密を守る義務
- 政治的行為の制限
- 営利企業等の従事制限

職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1) 研修の状況 (平成23年度)

職員の研修は「登米市人材育成基本方針」に基づき実施しています。

単位：人

区分	内容	受講者数	備考
職場研修	6講座開催	957	接遇実践講座、コーチング研修ほか
職場外研修	宮城県市町村職員研修所	83	階層別研修、専門研修
派遣研修	宮城県派遣など	12	東北六県研修、自治大学校、市町村アカデミーほか

(2) 勤務成績の評定の状況

平成23年度については、勤勉手当の成績率決定に係る勤務成績の評価を実施しました。

係長級以上の職員については、勤務態度、能力、業績及び管理運営能力について総合的に評価を行うこととし、評価は被評価者の所属の課長、所長などと部局長が複数で行っています。課長級の職員の評価は部局長が行っています。上記以外の一般職員については、勤務態度、能力および業績について総合的に評価を行うこととし、評価は被評価者の所属の課長、所長などと部局長が複数で行っています。

職員の福祉及び利益の保護の状況

健康管理に関する状況 (平成23年度)

法律及び市規則の規定により、職員の健康診断などを行っています。

単位：人

区分	対象者	受診者数
定期健康診断	全職員 (人間ドック受診者除く)	970
人間ドック	35歳以上の希望者	454
胃がん検診	35歳以上の希望者	105
子宮がん検診	20歳以上の希望者	192
乳がん検診	30歳以上の希望者	188
大腸がん検診	40歳以上の希望者	45
かくたん検査	希望者	49
前立腺がん検査	希望者	64

市職員の給与などのあらまし

市職員の給与などの状況は、市議会での予算や給与条例の審議などを通じて明らかにされています。今回は職員給与の実態などについて、広く市民皆さんに理解していただくため、そのあらましを紹介します。

【問い合わせ】総務部人事課 ☎0220(22)2145

職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の退職・採用の状況 (平成23年度)

単位：人

区分	一般行政職	労務職	消防職	医療職	企業職	合計
退職者数	73	7	6	19	1	106
採用者数	16	0	7	28	0	51

(2) 職員数 (各年4月1日現在)

単位：人

部門	区分	職員数	
		H23	H24
一般行政部門	議会	7	7
	総務	223	210
	税務	31	32
	民生	173	166
	衛生	84	75
	労働	0	0
	農林水産	78	70
	商工	13	11
	土木	68	65
	小計	677	636
	特別行政部門	教育	221
消防		156	158
小計		377	360
普通会計		1,054	996
公営企業等会計部門	病院	465	470
	水道	30	30
	下水道	26	23
	その他	31	31
	小計	552	554
合計		1,606	1,550

(3) 役職別職員数 (平成24年4月1日現在)

単位：人

部長級	14	次長級	41	課長級	169	課長補佐級	357
係長級	465	一般職	410	労務職	94	合計	1,550

(4) 年齢別職員構成の状況 (平成24年4月1日現在)

単位：人

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳
職員数	8	44	60	102	177
区分	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳
職員数	191	149	141	163	241
区分	56歳～59歳	60歳以上	合計		
職員数	266	8	1,550		

職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	歳出額 A	人件費 B	人件費率 B/A
H23	49,317,621千円	9,385,625千円	19.0%

【参考】平成22年度人件費率

23.2%

(2) 職員給与費の状況 (普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				一人当たりの給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤奨手当	合計 B	
H23	1,054人	3,973,068千円	589,069千円	1,410,501千円	5,972,638千円	5,667千円

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額、平均年齢の状況

(平成24年4月1日現在)

区分	一般行政職	労務職 (企業職員を除く)	消防職	企業職 (看護師・准看護師)	企業職 (水道事業)
平均給料月額	326,580円	300,071円	258,871円	315,367円	344,543円
平均給与月額	368,272円	322,270円	305,573円	354,296円	396,682円
平均年齢	45.1歳	50.2歳	37.1歳	44.8歳	48.4歳

(4) 職員手当の状況 (平成24年4月1日現在)

手当の種類	内容			
期末手当・勤奨手当	(平成23年度支給割合)			
		期末手当	勤奨手当	合計
	6月期	1.225月分	0.675月分	1.90月分
	12月期	1.375月分	0.675月分	2.05月分
	職務上の段階、職務の級等による加算措置有り			
退職手当	(支給率)	自己都合	勤奨・定年	
	勤続20年	23.5月分	30.55月分	【その他の加算措置】 定年前早期退職特例措置 (2%～20%)
	勤続25年	33.5月分	41.34月分	
	勤続35年	47.5月分	59.28月分	
	最高限度額	59.28月分	59.28月分	

2012 秋 叙勲・褒章

不断の努力と永年の 功績が認められ

※年齢は平成24年12月1日現在

旭日双光章

上野 智通さん
（追町・70歳）



昭和62年4月に登米郡南方迫土地改良区理事に就任。平成14年7月から迫川沿岸土地改良区理事長として農業経営の安定化に寄与されました。平成21年には産業功労として宮城県知事から表彰されています。

旭日双光章

大場 文雄さん
（追町・70歳）



昭和59年4月に迫町議会議員に当選して以来、平成21年4月までの25年間、地方自治の発展に貢献されました。特に、平成16年4月から17年3月までは迫町議会議長として、円滑な議会運営に尽力されました。

瑞宝単光章

阿部 清昭さん
（米山町・71歳）



昭和41年に米山町消防団に入団。平成2年に米山町消防団分団長、17年からは登米市米山町消防団副団長として地域防災に尽力されました。平成14年には消防庁長官より永年勤続功労章を受章されています。

瑞宝単光章

阿部 富男さん
（登米町・61歳）



昭和45年に陸上自衛隊に入隊。第2特科群、陸上自衛隊富士学校、東北補給処反町弾薬支処などに勤務。平成17年までの35年間、自衛隊員として国民の安全を守ることに、後輩隊員の指導にも尽力されました。

瑞宝単光章

小野寺 高夫さん
（東和町・73歳）



昭和44年に東和町消防団に入団。平成12年に東和町消防団副団長、17年からは登米市東和町消防団副団長として地域防災に尽力されました。平成15年には消防庁長官より永年勤続功労章を受章されています。

瑞宝単光章

佐々木 幹彦さん
（豊里町・57歳）



土木工事業務に30年以上にわたり従事し、社会資本整備の振興に尽くされるとともに、後輩職員の育成にも積極的に尽力されました。平成22年には、国土交通大臣より優秀施工者として顕彰されています。

瑞宝単光章

千葉 紘一さん
（追町・69歳）



昭和47年に登米地区消防事務組合消防吏員を拜命。平成8年からは登米地域広域行政事務組合消防本部予防課長として地域防災に尽力されました。平成10年には消防庁長官より永年勤続功労章を受章されています。

藍綬褒章

伊藤 清市さん
（東和町・80歳）



昭和35年に国勢調査に従事して以来、長きにわたり統計調査員として尽力されました。平成22年には農業センサス功労として農林水産大臣より、平成23年には国勢調査功労として総務大臣より表彰されています。

地域の発展と文化の向上に貢献

平成24年度の市政功労者表彰、県文化の日表彰などを
受けた皆さまをご紹介します。(敬称略・順不同)

市政功労者表彰

【表彰式】 11月3日(祝)

【場所】 登米祝祭劇場

●地方自治功労

▼久保泰宏(米山) ▼日野周一(中田) ▼伊藤正幸(東和) ▼千枝得榮(追) ▼齋藤昇(追)

●産業功労

▼遠藤卓郎(中田) ▼田村太千雄(追) ▼伊藤政實(中田) ▼阿部利和(東和) ▼角田憲雄(登米) ▼高橋文敏(追) ▼工藤貞夫(石越) ▼木村義夫(米山) ▼千葉至誠(中田)

▼遠藤光則(南方) ▼高橋平克(津山) ▼那須静男(追) ▼後藤政吉(追) ▼後藤勲(米山) ▼佐々木彰(豊里) ▼今野光男(津山) ▼遠藤栄一(中田) ▼佐々木豊治(登米)

●納税功労

▼小松潤作(米山) ▼岡田友雄(米山) ▼佐藤哲郎(登米) ▼高橋勝雄(登米) ▼杉澤正記(米山) ▼三田静夫(登米) ▼佐藤直(米山) ▼阿部信行(米山) ▼鈴根納税貯蓄組合(米山) ▼三日町納税貯蓄組合(米山)

●保健衛生功労

▼及川睦枝(東和)

●教育文化功労

▼菅原盛家(追) ▼伊藤新樹(中田)

●社会福祉功労

▼猪又貴(東和) ▼松木貞俊(東和) ▼和田晃(多賀城市)

●消防防功労

▼高橋安夫(追) ▼菅原淳一(東和) ▼佐藤正浩(豊里) ▼高石俊彦(追) ▼高泉真(中田) ▼猪股勝志(東和) ▼佐々木一(豊里) ▼阿部義孝(中田) ▼浅野武志(追) ▼伊藤繁雄(追) ▼後藤幸男(米山)

●防犯交通安全功労

▼西條泰憲(津山) ▼寺田米次(米山)

●善行功労

▼新田伸(米山) ▼北條茂雄(登米) ▼新田伸(米山) ▼小野透(南方)



▼千葉幸志(石越) ▼若草会(東和)

県文化の日表彰

【表彰式】 11月1日(木)

【場所】 東京エレクトロンホール宮城

●地方自治功労

▼植田正俊(南方) ▼小白幸記(登米) ▼佐々木和雄(津山) ▼佐藤芳男(東和)

●産業功労

▼佐々木禧市(米山) ▼秋山英俊(登米)

●教育文化功労

▼衣川喜仁(米山) ▼梶原みね子(東和) ▼長谷浩子(米山)

●保健衛生功労

▼菅原政美(追)

●消防防功労

▼及川蕃(東和) ▼亀井明(津山) ▼千葉善藏(追) ▼比毛耕太郎(米山)

県教育功績者表彰

【表彰式】 11月6日(火)

【場所】 宮城県庁

●学校教育功労

▼佐藤信男(佐沼小校長)

●学校保健功労

▼佐藤正枝(公立校薬剤師)

室内楽交響曲の世界「冬の調べ」を開催

東北大学交響楽団OBと木の家合奏団による交響曲演奏会を開催します。

【日時】 12月9日(日)

午後7時～(午後6時30分開場)

【場所】 石ノ森章太郎ふるさと記念館(エントランス)

【定員】 70人(先着順)

【入場料】 無料

【申込方法】 直接石ノ森章太郎ふるさと記念館に申し込むか、電話で予約してください。

【問い合わせ】 石ノ森章太郎ふるさと記念館
☎ 0220(35)1099

思いのタスキをつなぐ

市駅伝大会に60チーム



秋晴れの下、勢いよく飛び出ししていく第一走者（一般の部）。総勢281人の選手がタスキをつなぎました



チームの思いを込めたタスキを次の走者につないでいきます（年代混合の部）

今年で3回目を迎える市駅伝競走大会が11月4日、中田総合体育館を主会場に開催。開会式では選手を代表し石越中3年の平塚敦也^{あつや}さんが「仲間の汗のしみ込んだタスキを、最後まで全力でつなぐことを誓います」と力強く選手宣誓しました。

大会には、年代混合の部、中学生の部、一般の部の3種目5部門に市内から60チームが参加。一般の部（男子）で優勝したチームQP（キューピー）の監督兼アンカーの本吉真弥^{まこと}さん（登米町遠見台）は「過去2大会は佐沼高校に負けて悔しい思いをした。優勝できて本当にうれしい」と笑顔で話していました。

漫画家・竹宮さん 企画展

章太郎記念館で開催中



来場者と記念撮影する竹宮さん（左）。年代、男女問わず幅広いファンがいる竹宮さんの漫画の世界

漫画「地球（テラ）へ……」や「風と木の詩」で知られる漫画家、竹宮恵子さんの作品を展示する企画展が、11月3日に石ノ森章太郎ふるさと記



企画展初日。開館前に関わらず、大勢のファンが並びました

念館で開幕。企画展初日には竹宮さん本人が記念館を訪れ、サイン会や記念撮影会などで来場者と交流しました。この企画展のために東京から訪れたという阿久津雅子さんは「竹宮先生の作品からは生命力と躍動感が感じられるので大好きです」と目を輝かせていました。

企画展は竹宮さんの複製原画など約180点を展示。来年1月27日まで行われ、最終日には竹宮さんのトーク&サイン会が予定されています。

東日本大震災で被災し、市内南方町の仮設住宅に住んでいる南三陸町の人たちを元気づけようと、11月3日、在日のネパール人らが仮設住宅を訪れました。東京に本部がある東京米山友愛ロータリークラブが主催し、佐沼ロータリークラブが共催したものです。当日は、東京からロータリークラブの会員約30人が南方仮設住宅を訪れ、ネパールの民族舞踊をみんなで踊ったり、ネパールカレーを振る舞ったりしました。

同ロータリークラブの村田彰子会長は「ネパールの人も皆さんのことを応援しています」というメッセージを伝えたかった」と話していました。



ネパールの民族舞踊をみんなで踊ります。舞踊とカレーで体も心も温まる交流になりました。

南方仮設住宅でネパール交流 舞踊とカレーで温かく



UEカフェエミールディングに参加した人々。市民を含め約200人が参加しました。

次の復興支援に向けて

UEカフェエミールディング

市内登米町を拠点に震災の被災者支援を行っている社会貢献共同体ユナイテッド・アース(UE)が、10月20日に「登米・南三陸UEカフェエミールディング」を迫町内のホテルで開催、首都圏などから約100人が訪れました。市との共催。被災地の現場を視察し、今後の復興支援活動を話し合うことが目的です。

出席した布施孝尚市長は「震災を契機とした新しい視点でのまちづくりが、全国の地方都市が抱える課題解決のモデルになるのではないかと述べ」「このUEカフェが、さまざまな意味で新しい第一歩を踏み出せる場となることを期待します」と話しました。

よりよい看護のために

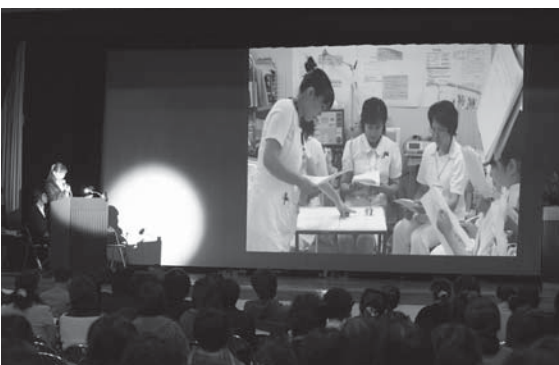
市立病院等看護部研究発表

市立病院などの看護師が看護に関わる研究成果を発表する、平成24年度市立病院等看護部研究発表が、10月27日に開催されました。

会場の中田農村環境改善センターには病院、診療所、老人保健施設の看護部に所属する職員ら約140人が出席。六つの施設から選ばれた16人

がそれぞれの看護の立場からまとめた研究成果を発表しました。

「大震災の経験に基づく、災害対策への取り組み」と題して発表した豊里病院看護師の佐々木望美^{のぞみ}さんは、震災時における病棟マニュアルの作成と机上シミュレーションを試みたことを発表しました。



それぞれの立場からまとめた研究成果をスクリーンに映しながら話す発表者(左)

市の任期付職員（税務申告相談）、平成25年度非常勤職員・臨時職員・パート職員登録者を募集

市では、総務部税務課または市内の住民税などの申告会場などに勤務し、申告相談に

関する業務および住民税賦課

のための申告資料などの整理

を行う任期付職員および、平成25年度の非常勤職員・臨時

職員・パート職員の登録者を募集します。

非常勤職員・臨時職員・パート職員については、過去に登録した人も平成25年度の採用

を希望する場合は再度登録

が必要となります。



任期付職員 （税務申告相談）

【職種】 税務申告相談

【採用予定人数】 6人程度

【職務内容】 総務部税務課または、市内の住民税などの申告会場などに勤務して、住民税などの申告相談に関する業務および住民税賦課のための

申告資料などの整理に関する業務に従事します。

【任用期間】 平成25年1月7日～3月31日

【受験資格】 学校教育法による高等学校の卒業者およびこれと同等以上の経歴を有する

3年以上公務員などとして税務申告相談などの業務経験がある人。

【試験方法】 第1次試験（書類審査）、第2次試験（面接試験）とし、第2次試験は第1次試験の合格者に対してのみ行います。

【第2次試験日時】 12月18日（火）午前8時40分～

※会場は第1次試験合格者に通知します。

【受験申込書請求方法】 受験申込書・職務経歴書は総務部人事課（市役所迫庁舎2階）に備え付けてあります（市ホームページからもダウンロード可）。郵便で請求する場合は、封筒の表に「任期付

職員（税務申告相談）受験申込書等請求」と朱書きし、宛先を明記して120円切手を貼った返信用封筒（A4版が入る大きさ）を必ず同封してください。

【提出書類】

① 受験申込書1部

② 受験申込書に必要事項を記入し、申し込み前3カ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦4.5センチ×横3.5センチの写真を貼付してください。

※写真がない場合は受け付けできません。

③ 職務経歴書1部（所定の申込書を使用すること）

④ 郵便で申し込む場合は、宛先を明記し80円切手を貼った返信用封筒を同封してください。

【受付期間】 12月3日（月）～12日（水）平日午前8時30分～午後5時15分

※郵送の場合は12月12日（水）必着

非常勤職員・臨時職員・パート職員の登録者

【主な職種】 保育士、児童館・子育て支援指導員、幼稚園講師、教員補助員、看護師、准看護師、介護福祉士、看護助手、介護員、調理員、運転業務員、事務補助員など

【登録申請書請求方法】 募集要領や登録申請書は、総務部人事課・医療局経営管理部企画総務課、各総合支所窓口

に備え付けてあります。（市ホームページからもダウンロード可）。また市ホームページからインターネット（電子申請）による登録もできます。

【登録の方法】 所定の登録申請書に必要事項を記入し、申し込み前3カ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦4.5センチ×横3.5センチの写真を貼付し、市役所迫庁舎2階の総務部人事課まで提出、または郵送してください。保育士や看

護師など、資格を要する職種を登録する場合は、その資格証の写しを添えて提出してください。電子申請の場合は、市ホームページから手続きしてください。

【受付期間】 12月3日（月）から随時受け付けます。

平成25年4月からの採用を希望する人は、平成25年1月11日（金）までに登録してください。（郵送の場合は必着）。

【採用方法】 採用者は、登録された人の中から必要に応じて選考を行い決定します。

申し込み・問い合わせ

総務部人事課

〒987-0511

登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1

☎ 0220(22)2145

【URL】 <http://www.city.tome.miyagi.jp/jinji/syokuinsaiyou.html>

平成25年度 放課後児童クラブの利用児童を募集

【対象児童】 平成25年4月1日現在で昼間、保護者が仕事や疾病、その他の理由により適切な保護指導を受けられない市内の小学校に在籍する1年生から3年生までの児童

【利用時間】 月曜日～金曜日は放課後～午後6時30分（土曜日と学校長期休業日などは、午前7時30分～午後6時30分）

【利用料】 無料

※おやつ代や教材費などの実費は、保護者会を通じ負担していただきます。

【提出書類】 ①利用申請書②就労証明書③家族調書④申

立書など

※提出書類の用紙は各児童クラブに備え付けてあります。
※現在児童クラブに登録している児童も、改めて申し込みが必要です。

【申込期間】 12月3日（月）～20日（木）

※月曜日から土曜日までの午前9時から午後6時まで（休日・祝日を除く）

【利用決定】 利用審査会で書類審査を行い、2月末日までに郵送などで通知します。

※申込者が定員を超えた場合は利用できない場合があります。

児童クラブ名・申込先	平日の活動場所	児童クラブ・電話番号	定員	問い合わせ	
迫児童クラブ	迫児童館	0220 (22) 2524	60人	迫児童館	0220 (22) 2524
新田児童クラブ	新田中学校	0220 (28) 3005	20人		
北方児童クラブ	北方小学校	0220 (22) 0205	20人		
登米児童クラブ	登米児童館	0220 (52) 2246	30人	登米児童館	0220 (52) 2246
米谷児童クラブ	米谷児童活動センター	0220 (42) 3130	20人	東和子育て支援センター	0220 (42) 2230
錦織児童クラブ	錦織ふれあいセンター	0220 (44) 3207	15人		
米川児童クラブ	米川小学校「子ども教室」	0220 (45) 2555	15人		
中田児童クラブ	中田児童館	0220 (35) 2525	60人	中田児童館	0220 (35) 2525
上沼児童クラブ	上沼児童活動センター	0220 (34) 2007	30人		
石森児童クラブ	石森小学校	0220 (34) 2646	20人		
宝江児童クラブ	宝江小学校	0220 (34) 8802	20人		
豊里児童クラブ	豊里小・中学校	090 (7070) 5256	40人	豊里子育て支援センター	0225 (76) 4731
米山児童クラブ	米山児童館	0220 (55) 2313	30人	米山児童館	0220 (55) 2313
米山東児童クラブ	米山東小学校	0220 (55) 2286	20人		
石越児童クラブ	石越保健センター	0228 (34) 3110	20人	石越子育て支援センター	0228 (34) 3110
南方児童クラブ	南方子育てサポートセンター	0220 (58) 5558	50人	南方子育てサポートセンター	0220 (58) 5558
津山児童クラブ	津山林業総合センター	0225 (68) 3363	20人	津山子育て支援センター	0225 (68) 3363

※平成25年度から、米川小学校の児童は、平日は「子ども教室」で活動します。

所得の申告相談日を見直します

所得の申告相談は、毎年2月10日頃から3月15日まで行っています。近年の各地区ごとの受付世帯数は下記のとおりです。これまで地区によって受付世帯数に違いがあることから、昨年度から申告世帯数に合わせた申告相談日数で実施しました。今年度の申告相談も前年度の結果を踏まえ、申告相談日の見直しを検討しています。

詳しい日程などについては、1月に配布する「所得申告相談について（ご案内）」をご覧ください。

	H20	H21	H22	H23
迫	2,517	2,500	2,496	2,349
登米	1,123	1,019	958	908
東和	1,543	1,476	1,356	1,370
中田	2,383	2,403	2,337	2,300
豊里	1,178	1,177	1,084	1,125
米山	1,966	1,868	1,774	1,764
石越	1,139	1,096	1,049	945
南方	1,407	1,369	1,342	1,328
津山	928	840	744	759
合計	14,184	13,748	13,140	12,848

【問い合わせ】

総務部税務課（市民税係） ☎ 0220 (22) 2163

乳がん検診を受けましょう

乳がんは早期発見率が高いがんと言われており、市では女性の皆さんに定期的に乳がん検診を受けていただくようお勧めしています。

【検診対象者】 30歳以上の女性、40歳以上は2年に1回偶数年齢の方

【検診について】

▶ **集団検診** 12月12日（水）～15日（土）、17日（月）～21日（金）、午前9時～10時30分・午後0時30分～1時30分、中田保健福祉会館

▶ **個別検診**（平成25年1月11日（金）～3月29日（金））
集団検診を受けられなかった方を対象に市立登米市民病院で12月25日（火）から申し込みを開始します。

【持参する物】 乳がん検診受診票

※乳がん検診無料クーポン券対象の方は、クーポン券も持参してください。

※乳がん検診をこれから申し込む方は、総合支所市民課または市民生活部健康推進課にお問い合わせください。

【問い合わせ】

市民生活部健康推進課（健康推進係） ☎ 0220 (58) 2116

（個別検診に係る問い合わせ）

医療局経営管理部病院管理課（医事係） ☎ 0220 (22) 5511

入札・契約に関するお知らせ

① 市競争入札参加資格審査 定時申請を受け付け

市が発注する工事や業務などに係る競争入札参加を希望する場合は、資格審査を受け、競争入札資格者名簿への登録が必要になりますので、要領などを確認の上、申請してください。

【登録区分】「建設工事」「建設関連業務」「物品の製造・販売等」「役務の提供等」
【受付期間】12月10日（月）
～平成25年2月12日（火）
午前9時～11時30分、午後1時～4時
※土曜・日曜、祝祭日および年末年始を除く
【受付場所】総務部総務課契約係（市役所迫庁舎2階）
【提出書類】入札参加資格審査申請書一式
※受付場所へ直接、提出してください（郵送不可）
※詳細については、業種ごとの提出書類一覧などを

② 市小規模工事等 契約希望者登録

定時申請を受け付け

ご覧ください。
※建設工事、建設関連業務に登録する方で、電子入札に未登録の方は登録をお願いします。

市内業者の受注機会を拡大する目的で、競争入札参加資格審査申請をしない方を対象とし、「小規模工事等契約希望者登録」の申請を受け付けます。「小規模な建設工事や修繕」の受注を希望する方は要領などを確認の上、申請してください。
【対象工事等】小規模な建設工事や修繕で、内容が簡易で履行の確保が容易なもの、かつ1件の工事・修繕金額が50万円以下のもの
【登録資格】
▼市内業者の方（登米市内に事業所または住所を有して

いる方）

▼競争入札参加資格登録をしない方

▼希望業種を履行するために必要な資格・免許を有している方

▼市税を完納している方

【受付期間】12月10日（月）
～平成25年2月12日（火）
午前9時～11時30分、午後1時～4時
※土曜・日曜、祝祭日および年末年始を除く

【受付場所】総務部総務課契約係（市役所迫庁舎2階）

【提出書類】小規模工事等契約希望者登録申請書（様式第1号）および関係書類

※受付場所へ直接、提出してください（郵送不可）

①② 共通事項

【申請要領など】申請要領および様式などは、市ホームページ（<http://city.tome.nyagijp/>）からダウンロードするか、総務部総務課の窓口で貸し出しを受け、作成してください。

【問い合わせ】総務部総務課（契約係）
☎0220（22）2091

シリーズ

火災原因調査から

③ 静電気による火災

ガソリンを給油するときセルフスタンドを利用したことはありますか？給油口を開ける前に「静電気除去シートに触れてから給油してください」という音が流れますね。

ガソリンなどの油類は揮発性が強く可燃性蒸気が出ます。その蒸気は燃えやすく、時には爆発的に燃え、大きな事故になることがあります。

これからの季節、車から降りるときに「バチッ」と指先に痛みを感じることも



給油時の注意事項を守りましょう

あります。このときの静電気の電圧は3千ボルトにもなっているそうです。

この見えない火種が給油時に悪さをして、蒸気化したガソリンを着火させることがあります。そのため静電気除去なのです。ガソリンスタンドでの火災事故は、この行為をしない場合に多く見られます。



静電気は、高電圧なんです

【予防対策】給油前の静電気除去以外に対策はありません。給油時のエンジンストップはいうまでもなく当然です。寒くて車の暖房を切りたくないからといって火災を起こしてしまったら、大切な車もなくしかねません。

福島第一原子力発電所事故に伴う市内放射線の測定結果

市では、市民の安全・安心を確保するため、毎日の定点測定に加え、学校や生活環境などでも空間放射線の測定を行いましたので、その結果をお知らせします。

空間放射線量の測定結果（幼稚園・小中学校・社会教育施設など）

①測定方法／地上1m（幼稚園・小学校：地上50cm） ②測定機器：簡易測定器 ③単位：マイクロシーベルト毎時（1時間当りの放射線量）

町域	測定場所	測定日	天気	測定値	備考	町域	測定場所	測定日	天気	測定値	備考	
迫	森小学校	11月19日	晴れ	0.08		豊里	諏訪公園	11月14日	くもり	0.08		
	森幼稚園	11月19日	晴れ	0.07			宝江ふれあいセンター	11月14日	くもり	0.07		
	佐沼小学校	11月19日	晴れ	0.10			浅水ふれあいセンター	11月7日	晴れ	0.08		
	佐沼幼稚園	11月19日	晴れ	0.07			中田海洋センター	11月7日	晴れ	0.07		
	佐沼中学校	11月19日	晴れ	0.08			石森ふれあいセンター	11月7日	晴れ	0.07		
	東佐沼幼稚園	11月19日	晴れ	0.07			中田生涯学習センター	11月7日	晴れ	0.09		
	北方小学校	11月19日	晴れ	0.08			石ノ森章太郎ふるさと記念館	11月7日	晴れ	0.08		
	北方幼稚園	11月19日	晴れ	0.06			中田総合体育館	11月14日	くもり	0.06		
	新田小中学校	11月19日	晴れ	0.08			豊里幼稚園	11月15日	晴れ	0.08		
	新田幼稚園	11月19日	晴れ	0.07			豊里小・中学校	11月15日	晴れ	0.08		
	歴史博物館	11月19日	晴れ	0.07			豊里公民館	11月8日	雨	0.06		
	迫公民館	11月19日	晴れ	0.07			豊里多目的広場	11月15日	晴れ	0.08		
	市民プール	11月19日	晴れ	0.06			平筒沼農村文化自然学習館	11月8日	雨	0.12		
	視聴覚センター	11月19日	晴れ	0.08			豊里運動公園	11月15日	晴れ	0.09		
	光ヶ丘球場	11月19日	晴れ	0.08			米山	米山東幼稚園	11月16日	晴れ	0.07	
	梅ノ木グリーンパーク	11月19日	晴れ	0.07				米山西幼稚園	11月16日	晴れ	0.09	
	大東公園	11月12日	雨	0.07				中津山小学校	11月16日	晴れ	0.08	
迫図書館	11月12日	雨	0.07		米山東小学校	11月16日		晴れ	0.07			
迫海洋センター	11月12日	雨	0.07		米岡小学校	11月16日		晴れ	0.09			
新田総合運動場	11月12日	雨	0.07		米山中学校	11月16日		晴れ	0.09			
迫武道館	11月12日	雨	0.07		善王寺コミュニティセンター	11月9日		晴れ	0.08			
登米	登米幼稚園	11月20日	晴れ	0.06		吉田公民館		11月9日	晴れ	0.06		
	登米小学校	11月20日	晴れ	0.09		吉田運動場		11月9日	晴れ	0.07		
	登米中学校	11月20日	晴れ	0.10		米山公民館		11月16日	晴れ	0.08		
	警察資料館	11月20日	晴れ	0.08		米山海洋センター	11月16日	晴れ	0.08			
	高倉勝子美術館	11月20日	晴れ	0.10		石越	石越幼稚園	11月14日	くもり	0.08		
	登米総合運動公園	11月20日	晴れ	0.14			石越小学校	11月14日	くもり	0.11		
	教育資料館	11月13日	くもり	0.09			石越中学校	11月14日	くもり	0.07		
	伝統芸能伝承館	11月13日	くもり	0.09			石越公民館	11月14日	くもり	0.10		
登米総合体育館	11月13日	くもり	0.07		石越総合運動公園		11月14日	くもり	0.11			
登米公民館	11月13日	くもり	0.07		南方	西郷幼稚園	11月15日	晴れ	0.07			
東和	米谷幼稚園	11月20日	晴れ	0.08			西郷小学校	11月15日	晴れ	0.06		
	米谷小学校	11月20日	晴れ	0.10			東郷幼稚園	11月15日	晴れ	0.08		
	米川小学校	11月20日	晴れ	0.07			東郷小学校	11月15日	晴れ	0.07		
	錦織小学校	11月20日	晴れ	0.11			南方幼稚園	11月15日	晴れ	0.08		
	東和中学校	11月20日	晴れ	0.11			南方小学校	11月15日	晴れ	0.10		
	米川公民館	11月20日	晴れ	0.19			南方中学校	11月15日	晴れ	0.08		
	東和国際交流センター	11月20日	晴れ	0.13			南方中央運動広場	11月8日	雨	0.11		
	楼台コミュニティセンター	11月20日	晴れ	0.08			南方総合運動場	11月15日	晴れ	0.06		
	東和総合運動公園	11月13日	くもり	0.07			南方武道伝承館	11月8日	雨	0.07		
	東和勤労青少年ホーム	11月13日	くもり	0.06		西郷公民館	11月15日	晴れ	0.06			
中田	ざくら幼稚園	11月14日	くもり	0.07		南方公民館	11月15日	晴れ	0.07			
	中田幼稚園	11月14日	くもり	0.08		東郷公民館	11月15日	晴れ	0.07			
	浅水小学校	11月14日	くもり	0.08		津山	つやま幼稚園	11月16日	晴れ	0.09		
	宝江小学校	11月14日	くもり	0.09			柳津小学校	11月16日	晴れ	0.09		
	加賀野小学校	11月14日	くもり	0.07			横山小学校	11月16日	晴れ	0.10		
	上沼小学校	11月14日	くもり	0.09			津山中学校	11月16日	晴れ	0.10		
	石森小学校	11月14日	くもり	0.09			津山林業総合センター	11月16日	晴れ	0.08		
	中田中学校	11月14日	くもり	0.09			津山運動広場	11月16日	晴れ	0.09		
中田球場	11月14日	くもり	0.07		津山河川運動場		11月16日	晴れ	0.09			

※国の基本方針で示された、追加放射線量の長期的な目標は年間1ミリシーベルト。1時間当りでは、地表から50cm～1mの高さで、0.23マイクロシーベルトとなります。

※保育所・児童館などの測定結果については、広報とめ12月21日号でお知らせします。

【問い合わせ】 市民生活部環境課（生活環境係） ☎ 0220 (58) 5553

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

市では、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射線量の影響について、より正確な情報をお伝えるため、市消防署および消防署出張所や学校、教育施設などについて定期的に空間放射線量を測定し、その結果を市ホームページに掲載するとともに、市消防署および消防署出張所の測定値を毎日メール配信サービスにて配信しています。

メール配信サービス

【登録方法】 市ホームページから登録する方法と、携帯電話から右記の登録用メールアドレスを入力して登録する方法があります。

【情報料】 無料

※ただし、登録やメール受信時の通信料や回線使用料は本人の負担となります。

【問い合わせ】 総務部市長公室（広報広聴係） ☎ 0220 (22) 2090

登米市メール配信サービス

登録用URL・
メールアドレス

■ <http://tomecity.mail-dpt.jp/>（公開サイト）
■ tome@entry.mail-dpt.jp（仮登録用アドレス）

上記仮登録用アドレスを入力し、空メールを送信してください。その後、仮登録完了メールが送信されますので案内にしたがって本登録してください。※右のQRコードで携帯電話から読み取りもできます。



迫

北方小児童絵画コンクール



▲登米市長賞を受賞した小原愛さん（北方小6年）の作品

交通安全をテーマに力作

佐沼地区交通安全協会北方支部主催による「絵画コンクール」が11月7日、北方公民館を会場に行われました。このコンクールは、交通安全をテーマにした絵画を北方小学校の児童から募集し、交通ルールを守り交通事故のない街づくりに取り組みようと毎年実施しているものです。会場には、児童が交通安全を願い、一生懸命描いた絵画が多数並びました。審査員が並べられた絵画を一枚一枚熱心に見ながら、市長賞や佐沼警察署長賞などの入賞作品を選んでいます。応募作品は、12月19日まで北方公民館に展示されています。

往年の名車が登米に集結

「頑張ろう宮城」を合言葉に、今回で8回目となる「オールドフェスティバル in 登米」が10月28日、教育資料館前庭などを会場に開催されました。今回は、60台を超えるクラシックカーが登米町に集結。遠くは新潟県や埼玉県からの出展者もいました。会場では、車のオーナーが自慢の愛車の整備方法などについて熱く語り、観客も往年の名車を懐かしんでいました。また、石巻市の復興商店街などで活躍している雄勝町出身のオリジナル復興バンド「THE TIPS」のライブなども催され、大盛況の一日となりました。

オールドフェスティバル開催

登米



▲会場となった教育資料館前には往年の名車が勢ぞろい

東和

総合支所を会場に秋まつり



▲スコップを栓抜きなどで叩いて演奏するゲストの「スコップパース」

豊かな秋の恵みを楽しむ

東和の秋まつりが11月4日、東和総合支所西側特設会場で開催。ステージでは、町内の小中学生による合唱や踊り、文化協会の皆さんによる芸能発表が行われました。特別ゲストには石巻市の「スコップパース」を招き、スコップを使った三味線ショーなどが行われ、会場はたくさんの方の拍手と笑い声であふれていました。総合支所内には小中学校や恵泉会、文化協会の皆さんの作品が多数展示されたほか、農林産物販売や東和中の起業販売コーナーなどたくさんの方の出店し、市内外から訪れた大勢の来場者でにぎわいました。

中田

東京中田会がふるさと訪問



▲中田町内のリンゴ園を訪れた東京中田会の皆さん

土産は思い出と新鮮野菜

今年で24回目を迎える「東京中田会ふるさと訪問ツアー」が、11月3日から5日までの3日間、中田町内で開催されました。この事業は、ふるさとの自然や温かさに触れてもらい、中田町の魅力をより一層PRしてもらおうと、毎年開催されているものです。

今年「なかだの秋まつり」の見学や中田町上沼のりんご園でのリンゴ狩り体験。参加者は、ふるさとでの楽しい思い出と新鮮な野菜をお土産に帰っていました。参加者の中にはりんごの木のおーナーとなった人もいて、来年の秋が楽しみと話していました。

豊里

盛りだくさんの地区文化祭

作品の展示と芸能発表会

豊里地区市民文化祭が11月3日、4日の2日間、豊里公民館で開催されました。豊里地区の保育園や幼稚園、小・中学校に通う子どもたちの作品や町域内の福祉施設を利用しての皆さんの作品が展示され、展示会場は力作でいっぱい。4日には豊里文化協会加盟団体による芸能発表会も行われ、日頃の練習の成果が披露されました。豊里幼稚園、保育園の子どもたちによる「よさこい」や県無形文化財指定の上町法印神楽、豊里よさこいチーム「華幻」の皆さんの友情出演など、盛りだくさんな芸能発表会となりました。



▲県無形文化財に指定されている上町法印神楽も披露されました

2日間、大いに盛り上がる

第7回ふるさとよねやま秋まつりが、10月27日、28日の2日間、米山総合支所などを会場に開催されました。会場では、商工祭や菊花展をはじめ、ステージ発表、ふれあいこども広場コーナー、ちびっ子相撲大会など盛りだくさんのイベントが催されました。中でも、ふれあいこども広場コーナーは人気で、巨大滑り台や縁日コーナーには常に行列ができ、準備した景品が予定時間よりも早くなくなるなど大盛況でした。

2日目は、あいにくの雨模様でしたが、訪れた人たちは秋の収穫に喜びながら楽しいひとときを過ごしていました。

米山

イベントいっぱい秋まつり



▲米山中学校の生徒によるステージ発表

石越

まるごと、いしこしまつり



▲石越の食材をふんだんに使った1000人鍋

食と芸能、展示会を満喫

恒例となっている「まるごといしこしまつり」が10月28日、石越総合運動公園などを会場に開催されました。昨年同様「コミュニティ芸能祭」との合同開催。当日は悪天候にもかかわらず、市内外から約1500人が訪れました。

金鶏大鼓や石越小学校吹奏楽部の演奏、コミュニティ芸能祭、秋の展示会などが催され、来場者は石越の秋を満喫していました。まつりのメインである石越牛の串焼きや地元の食材をふんだんに使った「1000人鍋（いも煮汁）」のコーナーには多くの人が集まり、石越のおいさを堪能していました。

ふるさとへの思い深める

関東に在住する南方町出身者で組織する関東地区南方町人会の平成24年度総会が、10月21日に東京都内の東天紅上野店で開催。当日は、南方町からの参加者を含め120人余りが出席しました。

総会では提案された全ての議案が全会一致で承認され、会長には遠藤誠幸さん（須崎出身）が再任されました。総会後の懇親会では、カラオケやお楽しみ抽選会などが行われ、皆さん、時間が過ぎるのを忘れるほど大いに盛り上がりました。最後は、出席者全員で南方中学校の校歌を歌い、来年、元気に再会することを誓い、閉会となりました。

関東地区南方町人会が総会

南方



▲南方中学校の校歌を斉唱し来年の再会を誓いました

津山

3年ぶりとなる地区運動会



▲力自慢による白熱した戦いが繰り広げられました

競技も応援も力合わせて

第8回津山地区運動会が10月7日、柳津小学校校庭を会場に開催されました。雨天などにより中止が続き、3年ぶりの開催となった今年は、町内各行政区のほかに南三陸町仮設住宅の人も参加しての対抗戦で行われました。

結果は、本町一丁目行政区と石貝行政区が同点優勝するなど接戦でした。トーナメント形式で行われた綱引きでは、各行政区の力自慢が出場。応援にも力が入る白熱した戦いを繰り広げました。最後は、参加者で校庭に大きな輪をつくり、登米音頭を踊って交流を深めるなど、大盛況のもと終了しました。

登米市の モノづくり 集結

登米市のものづくりが一堂に。
今年で8回目となる登米市産業フェスティバルが
10月14日に迫体育館と中江中央公園を会場に開催、
大勢の人たちでにぎわいました。
「体感！登米市のモノづくり企業を知ろう」をテーマに
市内でモノづくりに取り組む
企業や高校、各種団体など32団体が出展した
フェスティバルの様子を紹介します。(25～27ページ)



産業フェスティバルのシンボルともいえる
村田製作所の一輪車ロボット「ムラタセイ
コちゃん」。みんなの注目を集めました



メイン会場の迫体育館には、見て、触れて、体験できる32のブースが設営、多くの人でにぎわいました



模範上棟式で行われた餅まき。布施孝尚市長（左）らが屋根の上から餅をまくと、集まった人たちは大喜びで拾っていました



市内の高校もブースを開設。上沼高校の生徒が作る手作りポップコーンは、香ばしい香りがしました。



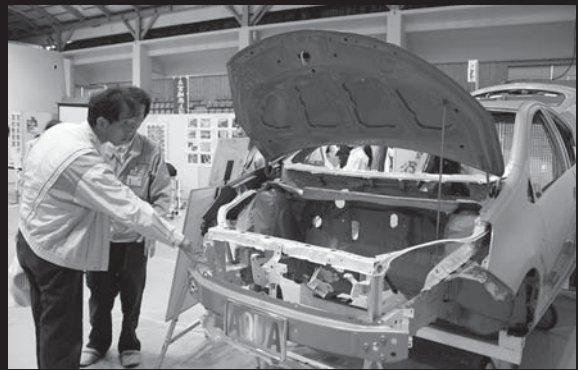
体験できるのが楽しい

三浦 睦さん（中田町下道）

子どもの友達家族6人で来ました。産業フェスティバルには毎年子どもたちと来ています。いろいろ見て体験できるのが楽しいですね。景品もいろいろもらえますし。私は登米市のおいしいものが食べられるのがうれしいです。今年はピザを自分たちで作って食べるコーナーがありました。とてもおいしかったですよ。



写真右が三浦さん



今回、初出展したトヨタテツ東北は、製造するハイブリットカー「アクア」のボデー部品を展示。注目を集めました



フェスティバルは「見る」だけでなく「体験する」も大きなテーマ。機械部品の組み立てを体験してみました

登米市のモノづくり集結

見て、触れて、体験



産業フェスティバルと同時に開催された「R(ライス)麺グランプリ東北予選会」米麺(こめめん)に合うオリジナルスープを開発した10店舗(登米市から3社)が出店、食べた人たちの投票で選ばれた上位入賞者が表彰されました



当日の天気は秋晴れ。屋外のテントにもぎわいました。イベントの様子は、H@!(はっと)FMの特設スタジオから会場内に生中継されました

市民の広場

市民の広場のコーナーでは、掲載を希望する人や情報を募集しています。広報広聴係まで情報をお寄せください。

総務部市長公室
広報広聴係

〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江2丁目6-1
☎0220(22)20900 FAX0220(22)9164
Eメール:kohono@city.tome.miyagi.jp

ぼくとわたしの夢 *Dream* 91



文^{としみ}俊美さん(南方中・1年)
(南方町北本郷・載圭さん方)

笑顔のあふれる やさしいキャビンアテンダントに

俊美さんは部活動では吹奏楽部に所属。ユーフォニアムという金管楽器を担当しています。そんな俊美さんの将来の夢は、シンガポール航空のキャビンアテンダントになることです。韓国に住む祖父母に会うため飛行機に乗る機会が多かった俊美さん。機内で働くキャビンアテンダントのいつも笑顔で接し

てくれる姿に、とても感動したそうです。両親の影響もあり日本語と韓国語を話すことができる俊美さん。より多くの人とコミュニケーションを取りたいと、CDや本で英会話の習得にも励んでいます。「将来はキャビンアテンダントを育成・指導する人にもなりたい」と笑顔で話していました。



ひゅうが 柴田 彪雅くん(1歳)
平成22年12月7日生まれ
米山町今泉
佑樹さんの長男

彪雅くんは動く車が大好き。ダンプやトラックを見かけるとなかなか離れません。ミカンが好物で一度に10個食べることもあるそうです。



れな 清野 麗奈ちゃん(2歳)
平成22年7月11日生まれ
中田町表
征樹さんの長女

歌とダンスが得意な麗奈ちゃん。保育所で覚えてきた歌をパパ・ママに教えてくれるそうです。納豆が大好きで、納豆だけでも食べちゃいます。

わが家のアイドル *Kid's*



みゆう 千葉 美優ちゃん(1歳)
平成22年12月13日生まれ
登米町八丁田
秀樹さんの長女

美優ちゃんは犬のナナちゃんと仲良し。いつも一緒にお散歩をしています。歌が大好きで「出た出た月が」を上手に歌ってくれました。



あきひと 西條 聡仁くん(2歳)
平成22年2月20日生まれ
津山町横山11
雅徳さんの長男

おばあちゃん子の聡仁くん。いつもおばあちゃんと散歩や畑に出かけています。最近では、着たい服を自分で選んで、一人で着替えをするようになりました。

大切な家族のために マイホームを建てたい



松嶋悠さん (20歳)
(石越町第11・やぎ座)

★身長と血液型 173センチでA型です。
★現在は 高校卒業後から市内の宮石運輸(株)に勤め、今年で3年目になります。フォークリフトを運転し、主にベニア板などの積み込みを担当しています。狭いところでの作業のため、安全には気を配っています。
★自分の性格 明るく、とてもおしゃべりです。周りからも話しかけやすいと言われます。
★休日 は 友達とお酒を飲むことが多いです。また、車が好きなのでよく洗車もします。愛車がきれ

いになると気持ちいいですね。
★趣味は ダーツです。始めて1年くらいになります。お店の人とも仲良くなり、家族みたいな感じでワイワイやっています。
★理想の女性像 自分の性格を理解してくれる人。カワイイ系よりキレイ系がタイプです。
★今やってみたいこと 結婚して、友達と同じくらいの子どもが欲しいです。親子でいつまでも友達付き合いを続けられれば最高ですね。また、実家を継ぐつもりなので、大切な家族のためにマイホームを建ててあげたいです。

文芸

【短歌】

作品募集!
●1月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、12月10日までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。●応募者多数の場合選考して掲載します。

応募総数23作品

柳川岸辺たわむる鴛鴦の
粹な姿映心安げく

西城 正敏 (迫)

大禍なく台風一過青き空
物干竿が満杯になる

吉田 まさよ (迫)

徐々に暑さも過ぎて肌寒く
木ぎも色づき秋はたけなわ

本宮 やつ (中田)

青き空に色様さまに紅葉して
日の輝きぬ今日の栗駒

熊谷 てる子 (中田)

建材の香り漂う仏間にて
生家の先祖に曾孫と祈る

酒井 良子 (中田)

よさこいの虹色踊る艶やかさ
旗をなびかせ頑張る笑顔

佐々木 恒子 (中田)

初霜の降りたる刈田にガンの群れ
餌を啄む大合唱

石崎 よしの (米山)

傘寿過ぎ事無く歩く二キロ程
まだ大丈夫今少しだけ

佐々木 美恵子 (米山)

すがらせて登米のみなさん愛の杖
けすにけせない恵の絆

松本 孝二 (南方)

もみぢ葉を濡して落つる雨垂れの
波紋に生む清魚真清水の池

菅野 郭公 (津山)

お知らせ 暮らしの情報

Tome City Information

- ▶ **迫総合支所**
迫町佐沼字中江二丁目6番地1
☎ 0220-22-2111
- ▶ **登米総合支所**
登米町寺池日子待井381番地1
☎ 0220-52-5051
- ▶ **東和総合支所**
東和町米川字六反55番地1
☎ 0220-53-4111
- ▶ **中田総合支所**
中田町上沼字西桜場18番地
☎ 0220-34-2311
- ▶ **豊里総合支所**
豊里町小口前80番地
☎ 0225-76-4111
- ▶ **米山総合支所**
米山町西野字的場181番地
☎ 0220-55-2111
- ▶ **石越総合支所**
石越町南郷字愛宕81番地
☎ 0228-34-2111
- ▶ **南方総合支所**
南方町新高石浦130番地
☎ 0220-58-2111
- ▶ **津山総合支所**
津山町柳津字本町218番地
☎ 0225-68-3111

市営住宅・定住促進住宅 特定公共賃貸住宅 入居者募集

①市営住宅

- ▼ 迫新下谷地住宅23号(迫町北方字新下谷地114番地)
募集戸数/1戸(2K)
家賃月額/3700円(5500円)
- ▼ 米山西野第一住宅9号(米山町西野字見通3番地1)
募集戸数/1戸(2DK)
家賃月額/9700円(14500円)
- ▼ 石越駅前住宅14号(石越町南郷字小谷地前157番地2)
募集戸数/1戸(3K)
家賃月額/5800円(8700円)
- ▼ 石越駅前第二住宅7号(石越町南郷字小谷地前

126番地1)
募集戸数/1戸(3K)
家賃月額/12100円(18000円)

【対象者】住宅に困っている世帯

【入居資格】①入居収入基準が15万8千円以下であること(小学校就学前の子どものいる世帯、身体障がい者、60歳以上の人は21万4千円以下)。※収入基準の算出は、入居予定者の合計所得から世帯主以外の入居予定者一人につき38万円を控除し、12カ月で割った金額/②同居する親族がいること(婚姻予定も可)。※原則として単身での入居はできませんが、60歳以上の人(ただし、特例として平成18年4月1日現在で50歳以上の人も可)、身体障がい者(1級/4級)・精神・知的障がい者は単身入居するこ

とができます。詳細については、お問い合わせください/③入居者全員に市税の滞納がないこと/④現に市営住宅に入居している人は申込できません/⑤申込者または同居予定者が暴力団員でないこと。

②特定公共賃貸住宅

- ▼ 南方高石特定公共賃貸住宅 C13号(南方町山成前855番地1)
募集戸数/1戸(3LDK)

忍び込みに注意!

最近、家人が就寝中に住宅内に侵入し金品を盗む、忍び込みが増えています。重大犯罪に発展する危険もありますので、就寝する際も忘れずに施錠するように心掛けましょう。不審者を見つけた場合は、すぐに110番または最寄りの警察署へ。



③定住促進住宅

- ▼ 石越定住促進住宅2号棟 205号(石越町南郷字館前176番地1)
募集戸数/1戸(3DK)
家賃月額/30500円
駐車場/あり(1台のみ、別途2000円)

(市役所中田庁舎2階)
【申込期限】12月17日(月)期限厳守
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅管理係)
☎ 0220(34)2316
畜産農家を対象とした収支決算説明会
【日時/場所/対象地区】
①12月20日(木)午後1時30分/4時/中田農村環境改善センター/登米・東和・中田・石越・津山
②12月21日(金)午後1時30分/4時/南方農村環境改善センター/迫・豊里・米山・南方
※開催日ごとに対象地区を割り当てていますが、どの会場でも構いません。

【入居資格】①市内に定住を希望し、住宅を必要としている人/②市税を滞納していないこと/③暴力団員でないこと/④年収(賞与および利子所得などで継続的な収入を含む)の12分の1の額が、家賃の3倍以上であること。

【対象】繁殖・肥育・酪農を営んでいる畜産農家(青色申告を除く個人事業主)
※青色申告の人または平成24年分の申告から青色申告に変更する人は対象となりません。
※すでに廃業した人でも平成24年1月1日時点で畜産を営んでいた場合は申告が必要になります。

共通事項

【申込先】各総合支所市民課および建設部住宅都市整備課

【問い合わせ】総務部税務課(市民税係)
☎ 0220(22)2163



小野寺 陽焯くん
(中田町表・祐喜さん)



伊東 亮祐くん
(中田町桑代・雅宏さん)



舟嶋 妃娜ちゃん
(東和町米谷3・直彦さん)



菊地 大駕くん
(東和町米谷8・大地さん)



吉田 吏良ちゃん
(中田町弥勒寺北・光宏さん)



須藤 樹ちゃん
(中田町小島・孝朗さん)



西條 志紀ちゃん
(中田町蓬原・智志さん)



及川 心菜ちゃん
(中田町籠壇・克郎さん)



永瀬 壮吾くん
(中田町加賀野一・裕章さん)



堀田 望空ちゃん
(津山町横山2・和幸さん)



谷田 誠一郎くん
(石越町第九・敏幸さん)



阿部 紅春ちゃん
(豊里町新町・宗晴さん)



佐々木 蓮斗くん
(豊里町浦軒・修さん)

10月18日までの3歳児健診(3歳6~7カ月児)でむし歯がなかった子は、市内5地区で32人中13人でした。

※()内には申し出があった保護者の名前を掲載しています。

「雑所得」とみなされ、所得税がかかることになっていきます。65歳未満の人でその年の支払額が108万円以上の人や、65歳以上の人で158万円以上の人は、原則として所得税がかかります(この年金額より少ない人は源泉徴収されません)。

老齢年金を受給している人は、1月中旬に前年分の「源泉徴収票」が送付されますの

ねんきんだより

公的年金の源泉徴収票が送付されます

で、確定申告などの際に提出してください。

万が一、源泉徴収票を紛失した場合や、届かない場合には、「ねんきんダイヤル」で再交付の受け付けを行っています。

【ねんきんダイヤル】

☎0570(05)1165

※お問い合わせの際は、基本年金額番号が分かるものをご用意ください。

【問い合わせ】

▼古川年金事務所 国民年金課

☎0229(23)1203

▼市民生活部 国保年金課(年金医療係)

☎0220(58)2166

ご存じですか? 「高次脳機能障害」

交通事故や転倒などによる頭部外傷や脳血管障害などの疾患により、脳の一部が損傷を受けることで、記憶があいまいになる・怒りっぽくなるなど、記憶・意思・感情の高次脳機能に障害が現れることがあります。このような症状による障害を「高次脳機能障害」といいます。

高次脳機能障害は、日常生活に影響するだけでなく「目に見えない障害」のため、周囲からの十分な理解や支援が得られない場合があります。

県では高次脳機能障がい者やその家族を支援するため、リハビリテーション支援センターが高次脳機能障害相談(巡回相談)を実施しています。高次脳機能障がい者ご本人やご家族だけで悩みを抱え込まず、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】登米保健所(成人・高齢班)

☎0220(22)6117(8:30~17:15)

または最寄りの総合支所市民課

—登米地区地域医療対策委員会・自殺対策専門委員会—

家屋の取り壊し 届け出を忘れずに

家屋（建物）を取り壊した場合、市役所に「家屋滅失届」の提出が必要となります。

家屋に対する固定資産税は、毎年1月1日現在の状況に基づいて課税されます。滅失の届け出が遅れたり、届出を忘れてしまった場合には、翌年度以降も課税されることとなります。家屋を取り壊した際には、忘れずに届け出をお願いします。

登記をしている家屋については、法務局で建物滅失登記の手続きが必要です。

障害者しごと相談

【相談日時】12月25日（火）
① 9:00～② 11:00～③ 13:30～④ 15:00～
【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所（登米保健所）
【相談担当】障害者就業・生活支援センター「ゆい」
【申し込み・問い合わせ】
▶ 障害者就業・生活支援センター「ゆい」
☎ 0220 (21) 1011
▶ 福祉事務所生活福祉課（障害福祉係）
☎ 0220 (58) 5552
※職業のあっせんではありませんのでご注意ください。

多重債務無料法律相談 多重債務110番

● 多重債務無料法律相談
【日時】12月7日（金）、21日（金）
午後1時15分～4時15分
【場所】迫にぎわいセンター
【担当】7日：柳瀨勝一（司法書士）
21日：及川毅（弁護士）
※事前に電話で予約してください。
☎ 0220 (34) 2308

● 多重債務110番
【日時】12月10日（月）、25日（火）
午前8時30分～午後5時15分
12月16日（日）
午前9時～午後5時
【場所】市役所中田庁舎2階（産業経済部商工観光課内）
【相談料】無料
【相談専用電話】
☎ 0220 (34) 2308
【問い合わせ】産業経済部商工観光課（商工業振興係）
☎ 0220 (34) 2734

みやぎ市町村県共同 ケヤキ債を発行します

市では、宮城県、栗原市と共同で地域住民向けの市場公募地方債を発行します。

今回、共同発行する市場公募地方債は35億円です。そのうち6億円は佐沼小学校校舎・体育館改築事業などに役立てられます。

県内に居住・勤務している個人や事業所のある法人であ

【届出先】 総務部税務課（市役所迫庁舎1階）または各総合支所市民課（届出用紙は届出先に備え付けてあります）

【持参するもの】 印鑑、課税明細書

【問い合わせ】 総務部税務課（固定資産税係）
☎ 0220 (22) 2163
または各総合支所市民課

【名称】 みやぎ市町村県共同ケヤキ債（平成24年度第1回宮城県市町村共同発行公募債）

【購入申込期間】 12月17日（月）～21日（金）

※申込総額が35億円に達した時点で締め切ります。

【発行条件】 ① 利率 固定金利で5年利付国債利回りを参考に12月13日（木）に決定

② 発行価格 額面1000円につき1000円
③ 発行日 12月26日（水）
④ 償還年限 5年、平成29年12月26日に元金を一括償還
⑤ 利払日 毎年6月26日と12月26日
⑥ 購入限度額 1人当たり1万円単位で1000万円まで

【取扱金融機関】 七十七銀行 および仙台銀行の県内店舗窓

口で、先着順に販売

【購入時に必要なもの】 購入代金、印鑑、本人を確認できる書類（運転免許証など）

※すでに購入先銀行店舗の通帳を持っている人は通帳

※法人の場合は、商業登記簿 謄本など

※マル優・特別マル優制度を利用する人は、確認書類（年金手帳など）

【問い合わせ】

▼ 企画部財政課（財政二係）
☎ 0220 (22) 2159

▼ 七十七銀行および仙台銀行の県内店舗窓口

歴史資料の保存に ご協力ください

各家庭で住宅の建て替えや蔵の修復を行う時に、古文書や美術工芸品などの歴史資料が出てきても、その内容が不明だったり、置き場所がなかったりして取り扱いに困り、処分されてしまうことがあります。このような資料が出てきて取り扱いに困りの際は、歴史博物館にご相談ください。

なお、当館では、古文書や美術工芸品の価格鑑定や買い取りはしていません。

【問い合わせ】 歴史博物館
☎ 0220 (21) 5411

東日本大震災被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます 広告

まごころ込めてお手伝いいたします



(株)国分や葬祭店



経済産業大臣認可 全葬連

宮城県葬祭業協同組合加盟店
http://www.zensoren.or.jp/ http://www.miyagi-sougi.com/

提携協力団体 COOPみやぎ生協・JP日本郵政グループ労組・宮交共済会・JAM・勾当台クラブ・etc

【本社】☎42-2105 ◆米谷店ショールーム ◆葬祭会館元町ホール ☎53-2323 [登米店] ☎52-3906

エネルギーに夢をのせて 広告



KUMANEN
快適生活 創造企業
熊谷燃料住設株式会社

■ アクアショップKUMANEN ■ BFCクマネン
■ コインランドリー 清潔空間 ■ なごみの家 さらり

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐佐字北散田120番1

TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732

http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

新刊紹介

登米図書館 / ☎0220 (52) 2316

大人向け



空飛ぶ教室

有川 浩 / 著

航空自衛隊広報部が舞台の作品。自衛隊の裏方を担う人々の人間模様が描かれています。

ふくわらい

西 加奈子 / 著

感情の扱い方を知らずに成長した主人公、定。人々との出会いを通じてひたむきに幸せを追及します。



**おかずに
美味しい田舎ごはん**

新聞 さとみ / 著

新米のおいしい季節。山形の食卓に出てくるおかずを紹介します。



子ども向け

ひまわりのおか

ひまわりを植えた八人のお母さんと葉方丹 / 著

津波で子どもを亡くしたお母さんたちがわが子へ宛てた手紙やお話しをもとにした絵本です。



**きかんしゃトーマス
キャラクターコレクション**

ポプラ社 / 出版

機関車トーマスの仲間たちがいっぱい。ソドール島で働く機関車を紹介。



**かんたん！かわい
い！ひとりでき
る！ゆびあみ**

寺西 恵里子 / 著

針がなくても自分の指だけで毛糸が編めます。作り方を紹介します。



**あなたの結婚活動を
応援します**

市では、地域における後継者を確保するためにイベントや相談会などを開催します。

①交流イベント
【日時】12月9日(日) 午後5時～7時30分
【場所】セブンダイヤモンド(迫町佐沼)
【内容・会費】クリスマスパーティー、男性4000円・女性2000円
【対象者】独身で20歳以上の男性・女性(30人程度)

②自分磨きセミナー
【日時】12月15日(土) 午後1時～3時
【場所】迫公民館(視聴覚室)
【内容・会費】講話「話し方のコツ」、講師(青山奈津子さん、フリーアナウンサー)、

無料
【対象者】独身で20歳以上の男性・女性(15人程度)

③結婚相談会
【日時】①12月12日(水) 午後1時～5時 / ②12月15日(土) 午後3時～6時
【場所】①迫公民館(視聴覚室)・錦織公民館(研修室) / ②迫公民館(視聴覚室)
【内容・会費】結婚全般に関する相談、無料
【対象者】市内に居住し、結婚を希望する本人または家族(①4人程度②3人程度)

共通事項
【申込方法】電話、電子メール
【申込期限】開催日の2日前まで
【申し込み・問い合わせ】NPO法人ワーカーズコープ 登米事業所 ☎080(3196)2266

☒ tomekekankatsu@yahoo.co.jp
【担当部署】企画部市民活動支援課(地域振興係)
☎0220(22)2173

**募集します
手話講座受講生**

手話と聴覚障害について、楽しく学べる講座です。
【日時】1月15日(火)、18日(金)、22日(火)、25日(金)、29日(火) 全5回 午前9時

30分～11時30分
【場所】市役所南方庁舎2階(中会議室)
【対象者】市内に在住または勤務している人で障害福祉や手話に関心がある人
【講師】市手話通訳相談員
【内容】聴覚障がい者や手話についての理解、あいさつ・自己紹介・簡単な会話など
【定員】20人
【受講料】無料
【申込方法】電話、ファクシミリ。ファクシミリの場合は住所・氏名・電話番号を記入の上、手話講座受講希望と明記してください。
【申込期限】12月14日(金)
【申し込み・問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎0220(58)5552
FAX0220(58)2375

コールセンターオペレーター募集!! 広告

電話によるお客様対応を行っております

業務拡張のため **20名急募!**

①全国の大手ホテルチェーンの宿泊予約
②国内・海外の旅行予約
③旅行情報誌の取材
④登米市の農産物販売

【職種】コールセンターオペレーター-契約社員(正社員登用制度あり)
【資格】明るく元気に働ける方、未経験可
【勤務】シフト制、実働8時間【休日】9日間/月
【給与】月給139,000円～
【待遇】各種社会保険完備、交通費別途支給、無料駐車場完備
【応募】まずは、お気軽に下記までお電話を

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江五丁目8-18
株式会社 **東北創造ステーション** TEL.0220-21-5360
〒(東北) S(創造) S(ステーション)

確かな技術で まかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

災害公営住宅の お知らせ

市では、東日本大震災時に市内にお住まいの方で、住宅を失い自力で住宅の確保が困難な方を対象とした災害公営住宅を建設する予定です。

現在、全壊や大規模半壊などにより自宅を解体した方を対象として、入居意向などの調査を実施し、建設に向けての準備を進めています。

震災時に市内の民間賃貸住宅（アパートなど）に入居していた方で、その住宅が解体などにより継続入居が困難となり、親戚などの家に住んでいる方も災害公営住宅の入居対象となる場合があります。詳細については、お問い合わせください。

第46回衆議院議員総選挙

【投票日時】12月16日(日)
午前7時～午後7時
大切な一票を棄権することなく、忘れずに投票しましょう。投票日に都合が悪い人は、早めに期日前投票を済ませましょう。
【問い合わせ】選挙管理委員会事務局
☎ 0220 (22) 2198

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課（建築係）
☎ 0220 (34) 2316

住宅リフォーム 早めの相談を

市では、自宅のバリアフリー化・省エネ化・防災対策を含むリフォーム工事を行う場合に、工事費用の一部を助成する「住環境リフォーム助成事業」と、リフォーム工事と一体的に下水道への接続工事を行う場合に工事費用の一部を助成する「下水道接続促進補助事業」を行っています。

この事業は、平成24年度で終了する予定です。リフォームをお考えの方は早めにご相談ください。

①住環境リフォーム助成事業

【助成対象者】市内在住で、住民登録をし、同一世帯に属する全員が市税を滞納していないこと。

【助成対象住宅】申請者または申請者の配偶者、もしくは1親等以内の親族が所有している住宅。

※地震で被災した住宅を修繕する場合も次の条件を満たせば利用可能。

【助成対象工事】①市内に本社機能を有する法人および個人事業者が施工する20万円

こども夜間安心コール

- 電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
- ☎ 0220 (212) 9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
- 相談時間
毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

- 休日・夜間診療案内は下記の番号で24時間対応しています。
- ☎ 0229 (24) 2267
- 12月の休日急患当番医・歯科休日当番医は「広報とめ」11月21日号に掲載しています。

②下水道接続促進補助事業

※住環境リフォーム助成事業と併せて行う工事のみ対象。

【助成対象工事】対象工事は市内下水道指定工事店登録事業所が施工する工事。

【助成金額】助成費用は工事費の20%で15万円を上限。

【申請期限】平成25年2月28日(木)まで
【申請先】建設部住宅都市整備課

（消費税を除く）以上の工事／②工事費の10%以上もしくは10万円以上がバリアフリー・省エネ・防災に対応していること／③助成は同一住宅について1回までとし、同一助成対象者につき1回限りです。

④申請の後に工事着手したもので、完了検査が平成25年3月31日までに終了するもの

※すべての項目(①～④)に該当していること。

【問い合わせ】▼建設部住宅都市整備課（建築係）
☎ 0220 (34) 2316

▼建設部下水道課（事業管理係）
☎ 0220 (34) 2359

年金相談所を 開設します

年金の申請手続き、支払内容、加入状況など、年金に関する相談に応じます。

【日時】12月20日(木) 午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所迫庁舎1階（会議室）
【問い合わせ】古川年金事務所
☎ 0229 (23) 1204

おせち料理 ご予約承り中

特選松三段重¥15,000 竹三段重¥10,000 梅二段重¥7,500



■本社／登米市中田中学校通り TEL.0220-34-5002(代)
■総合センター／中田総合支所通り TEL.0220-34-8707
■花泉営業所／一関市花泉町駅前通り TEL.0191-82-2946

24時間電話受付
34-4856(代)

誠香社

株式会社 なかた葬祭

とよま蔵ジヤム前「最大200名様可」 ～メモリアルホール～	中田庁舎前「80名様可」 ～葬祭会館～	中田総合支所通り「100名様可」 ～葬祭ホール～
とよま斎苑	せいか苑	せいか苑 西ホール

祭壇＋葬具一式・20万円 会館使用料無料・光熱費1日1万円
自宅葬も同じ値段です。

福祉葬儀一式15万円、自宅葬壇も同じ料金です。(生活保護世帯対象)

12月の納税

- ▶市県民税 ……第4期
- ▶国民健康保険税 ……第7期
- ▶介護保険料 ……第7期
- ▶後期高齢者医療保険料 ……第6期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限/12月28日(金)

登米市の人口・世帯数

(平成24年10月末現在)

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,460	10,435	11,229	21,664
登米	1,811	2,503	2,774	5,277
東和	2,488	3,515	3,707	7,222
中田	7,815	7,833	8,280	16,113
豊里	2,085	3,382	3,505	6,887
米山	2,827	4,906	5,111	10,017
石越	1,610	2,648	2,761	5,409
南方	2,593	4,317	4,645	8,962
津山	1,228	1,799	1,936	3,735
合計	26,917	41,338	43,948	85,286

※平成24年7月9日から外国人住民も住民基本台帳制度の対象になったため、上記人口・世帯数に含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成24年10月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H24	H23	増減数
人身事故発生件数	259件	240件	19件
死者数	3件	3件	0件
負傷者数	309件	321件	▲12件
物損事故発生件数	1,585件	1,440件	145件

■警察署からのお知らせ

交差点やその付近での出会い頭や追突事故が多発しています。多発時間帯は薄暮時なので、早めにライトを点灯しましょう。

油類の取り扱いに 注意してください

これからの時期は、家庭での油類を取り扱う機会が多くなり、ホームタンクの操作ミスなどによる油流出事故が懸念されます。油の流出は河川環境などに影響を与えますので、ホームタンクの状態や取り扱いなどを再度確認し、安全な使用を心掛けてください。

- 家庭に設置しているホームタンクの点検をしましょう
- ①タンクを設置する場所の補強やチェーン等による転倒防止の対策は大丈夫ですか。
- ②タンクと配管の結合部は、タンクが揺れても損傷しないような構造になっていませんか。
- ③万一タンクから油が漏れても外に流出しないように、

祝祭劇場イベント情報

- 佐藤祐子 一葉来福絵手紙展
日時/12月1日(土)～28日(金)
10:00～17:00 (最終日は正午まで)
会場/レストラン
入場料/無料
 - 親しみクラシック「フルーツアンサンブル LYNX (リンクス)」
日時/12月6日(木) 18:30～
会場/小ホール
入場料/1,000円(高校生以下無料・要整理券)
 - ふだん着コンサート「ドラムサークル & ハンドベル」クリスマス音楽会
日時/12月16日(日) 14:00～
会場/小ホール
入場料/500円(高校生以下無料・要整理券)
- ※毎週月曜日は休館日です。月曜日が祝日の場合はその翌日が休館日になります。
※イベントは主催者の都合により変更や中止になる場合があります。
【問い合わせ】登米祝祭劇場
☎ 0220 (22) 0111

高倉勝子美術館ワークショップ参加者募集

- ①大人のワークショップ「はじめての絵手紙教室」
【日時】12月8日(土)、9日(日) 午前9時～11時頃

対象小学生(希望により小学生以下のお子様も可)

- 【日時】12月15日(土)、16日(日) 午前10時～正午
- 【費用】200円

【問い合わせ】市民生活環境課(生活環境係)
☎ 0220 (58) 5553

【対象】中学生以上(各日定員20人程度)
【費用】500円
②子どもたちのワークショップ「立体クリスマスツリーを作ってみよう」
【日時】12月15日(土)、16日(日) 午前10時～正午

【申し込み・問い合わせ】高倉勝子美術館
☎ 0220 (52) 2755

幼稚園・保育園で大人気
ケロポンズとあそぼう
「ケロポンズ」による歌あり、遊びあり、笑いあいの親子一緒に楽しめるステージです。
【日時】12月22日(土) 午前10時15分開演(午前10時開場)
【場所】中田農村環境改善センター
【入場料】小学生以上1000円、3歳以上600円、2歳以下無料
【申し込み・問い合わせ】ケロポンズとあそぼう実行委員会
☎ 0220 (22) 1108
▼白鳥ゆめっ子保育園
☎ 0220 (58) 2681
▼白鳥保育園
☎ 0220 (58) 2681

人と環境への
新しい優しさを
目指して
お気軽にご相談下さい



株式会社 清建

環境プロバイダ

本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階
TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980

南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122
URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp

有限会社 清建物流

TEL.0220-22-9430
FAX.0220-21-1535
本社/〒987-0512
宮城県登米市迫町森字平柳14-1

有限会社 リースキン宮城

TEL.0220-22-3431
FAX.0220-22-3495
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所

有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所 すずらん託児室

TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
【すずらん託児室】TEL.0220-22-7755

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

ときめき人

Tokimeki Bito

津山町西下在

片山 俊彦さん

かたやま としひこ
昭和 36 年生まれ 血液型 / B 型

10月7日に東京で開催された第23回全国消防操法大会に、県代表として出場した登米市消防団。指揮者を務めた片山俊彦さんはポンプ車操法の部の最優秀指揮者に与えられる優秀選手賞を受賞しました。「周りのレベルの高さに感心していたので、自分の名前が呼ばれた時には一瞬頭が真っ白になりました」と笑います。「今回の受賞は、周囲の支えや指導のたまもの。私たち消防団員の姿が、地域の皆さんの防火意識の向上につながればいい」と話す片山さん。「操法という訓練の先には火事の現場がある。消防魂と使命感を持って、これからも努力していきたい」と表情を引き締めていました。



各部門の表彰式。日本消防協会の秋本敏文会長(中央右)から最優秀指揮者の表彰を受ける片山さん

消防魂と使命感を持って
これからも努力したい

全国消防操法大会で 最優秀指揮者を受賞



編集室から

▼今月号から広報紙面をリニューアルしました。より魅力ある情報を載せていきたいという願いがあります。私たち広報係の力の源は皆さんの声です。「広報とめ」へのご意見、感想などをお寄せいただくと、うれしいです。(遠藤)
▼主にお知らせページを担当しています。市民皆さんになるべくリアルタイムな情報をお届けできるよう心がけています。限られた紙面の中のやり繰りは大変ですが、皆さんの役に立つ広報紙を目指して頑張っていきたいです。(宮内)
▼気が付けばもう12月。今年も残すところあと1カ月です。年を取るにつれ時間が早く感じると言いますがホントそのとおりですね。これからますます寒くなり、雪道での運転も増えると思いますが、皆さん安全運転を心掛けましょう。(伊東)

今月の表紙



▼中田農村環境改善センターで開催された「赤ちゃんフェスタ2012」。優しいまなざしで赤ちゃんの足をマッサージするお母さん。気持ち良いでしょうね。

広報 Tome
Miyagi Tome Public Relations



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防犯、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>